

科目名 (英)	ミュージックセオリー I	選択 必修	選択必修	年次	1		
	Music Theory I	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	半期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	水曜日 1 限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家							
【到達目標】 プロミュージシャンや声優、俳優には移調や楽曲制作、演奏に必要な基礎知識、裏方には照明や台本に照らし合わせてタイミングや間の取り方を、そして音楽の基礎知識をあまり必要としない学科の学生にも、学び方や、考え方の多面性を育てることが目標。							

授業計画・内容	
1回目	<楽譜の歴史> ファンデーションカリキュラムの説明、楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への移り変わりを知る
2回目	<音名> 鍵盤と音名の一致 楽器ごとの音域を知る
3回目	<音符、休符> 音符、休符の表し方
4回目	<拍子記号> 小節線について、単純拍子、複合拍子は紹介のみ、タイ、シンコペーション
5回目	<反復記号> 反復記号を学び、音源を使用して楽譜を終えるようにする
6回目	<スコアリーディング> 楽譜と音源を使用し、前半の総復習
7回目	<確認テスト> 確認テスト
8回目	<メジャースケール> メジャースケールの仕組み、#系のメジャースケールの仕組み
9回目	<メジャースケール> 5度圏、b系のメジャースケールの仕組み
10回目	<記譜法、臨時記号> 調号を臨時記号の違い、臨時記号の効力、正しい楽譜の書き方
11回目	<テンポ、強弱記号> 速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12回目	<スコアリーディング> 楽譜と音源を使用し、後半の総復習
13回目	<期末テスト> 期末テスト
14回目	前期復習
15回目	後期内容の確認と予習
準備学習 時間外学 習	宿題はほぼありませんが、毎回プリントを提出して頂きます。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック	

科目名 (英)	イヤートレーニング I Ear Training I	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	半期 水曜日 2 限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家							
【到達目標】 音程 1 ～ 8 度、音程のまとめ、メジャーとマイナーの聞き分け。四分音符から 1 6 分音符まで。							

授業計画・内容	
1回目	<音名> リス`ムは四分音符と四分休符、2 線紙を使って音の高低を判定。
2回目	<音符、休符> 5 線紙を使つての書きとり、八分音符が入つたリス`ム打ち、3 線紙を使って音の高低判定。
3回目	<拍子記号> リス`ム八分休符の書きとり、5 線紙を使ってC～Eの書きとり、全音、半音と度数のみ
4回目	<反復記号> リス`ム復習、休符の多い書きとり問題、音程は1,2,3,8のみ
5回目	<スコアリーディング> リス`ム復習、1 6 分音符の導入、メロディー暗記問題、音程 1 , 2 , 3 , 8 度のみ、変化記号がついた場合。
6回目	<中間テスト>
7回目	<メジャースケール#系> リス`ム復習、1 6 分音符、書きとり、メロディーは跳躍進行、八分音符の導入、新曲視唱、音程は 1 ～ 5 , 8 トライトーン
8回目	<メジャースケールb系> リス`ム八分休符、八分音符の導入、メロディーはC～Fまでの順次進行、音程は 1 ～ 5 , 8 トライトーン②
9回目	<記譜法、臨時記号> リス`ム 8 分と 1 6 分の組み合わせの導入、メロディーC～Gまでの順次進行、音程 1 ～ 6 と 8 度
10回目	<テンポ、強弱記号> リス`ム 1 6 分と 8 分の組み合わせの導入、メロディーC～Gまでの跳躍進行、音程 1 ～ 8 度
11回目	<スコアリーディング> リス`ム総復習、メロディー総復習、音程 1 ～ 8 度
12回目	<スコアリーディング> リス`ム総復習、メロディー総復習、音程 1 ～ 8 度
13回目	<予備テスト>
14回目	<期末テスト>
15回目	後期復習
準備学習 時間外学 習	宿題はありませんが、進行に差し支える学生には復習プリントを用意しています。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	歌う事によって、体で音を感じていきましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	デジタルファンデーションⅠ Digital Foundation I	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜5限
【授業の学習内容】							
社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得し、 講義では、デザイン技術、演習を中心に、使用頻度の高いアプリケーションを用いてスキル習得していく。							
実務者経験：電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとなった。17LIVE準認証ライター。							
【到達目標】							
Macを自由に扱えるようになる。履修者全員がデジタルポートフォリオを所持できるようになる。 Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。（レタッチ中心） Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。（ベジェ曲線操作、デザイン中心） STUDIOを利用した自身のデジタルポートフォリオ（web）の運営ができるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	Keynote基本操作理解。文字入力、サイズ、アニメーション Keynote（自己紹介PPT）を使用して資料を作成しプレゼンする						
2回目	ワードエクセル基本操作理解。ワード（ビジネス文章）/エクセル(タイムテーブル)提出 優秀資料のプレゼン発表する						
3回目	PhotoshopとIllustratorの違いを文字入力で理解、基本操作（ワークスペース、ツールバー、パレット、画面拡張、新規作成、保存）【Ai】図形						
4回目	【Ai】基本操作 選択、図形、パウンディングボックス、カラー、変形、重ね順、図形応用、ダイレクト選択ツール、スタイライズ、パスファインダ、整列、テキスト入力、グループ化、ベジェ曲線、スウォッチ、模様、グラデーション						
5回目	【Ps】レタッチと保存方法。画像変形、写真補正、カラーモード、解像度、フォーマット						
6回目	【Ai】配置画像を用いたフライヤーデザイン、クリッピングマスク、目を引くデザインとは何か。（コンセプト～ラフ作成・色理解～提案～レイアウトデザイン～ブラッシュアップ）						
7回目	【Ps】【Ai】写真を複数用いたフライヤー作成。イベントのロゴマーク						
8回目	【Ps】【Ai】写真を複数用いたフライヤー作成（レイアウトデザイン～ブラッシュアップ）よいデザイン、正確なデータ作成とは何かを考えて仕上げる						
9回目	【Ps】【Ai】オリジナルのLINEスタンプ作成、Psでの描画表現、Aiのブラシツール、アートボード、保存形式を指定して書き出し						
10回目	【STUDIO】自身のポートフォリオサイト作成の基礎。SNSアイコン等に使用できるデータ作成。リサイズ、フォーマット、商用利用可能素材。						
11回目	【STUDIO】自身のポートフォリオサイトを作成、STUDIO基本操作習得。TOP画像と初回授業で作成した自己紹介Keynoteの更新、素材を集める。						
12回目	【STUDIO】サイトの構成を考え、用意した素材を利用して作成し、完成させる。						
13回目	ポートフォリオサイトの提出 到達度テスト						
14回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
15回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
準備学習 時間外学習	定期的にメディアやサイト、店舗で雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みをよく考える						
評価方法	筆記又は、実技テストによる採点						
受講生への メッセージ	映像・写真を用いた魅力的な作品（ポートフォリオ）を制作できるようになってください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
Mac,Microsoft office,Adobeアプリケーション							

科目名 (英)	デジタルファンデーションⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
	Digital FoundationⅡ	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーミングアーツ科					曜日・時限	月曜5限
【授業の学習内容】							
写真やビデオ等の映像機器及び映像編集ソフトを用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。							
実務者経験：電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとなった。17LIVE準認証ライター。							
【到達目標】							
履修者全員が動画制作ができるようになる。 Adobe AfterEffectsの基本操作ができるようになる。(アニメーション作成・エフェクト適用・実写合成中心) Adobe Premiereの基本操作ができるようになる。(カット編集中心) Youtubeに動画投稿し、自身が制作した動画を他社に共有できるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	[Ae]AfterEffectsの基本操作理解。 新規プロジェクト作成、コンポジション作成、平面作成、テキスト入力、図形作成、素材読み込み。最終課題説明。						
2回目	[Ae]キーフレームアニメーションの理解。 基本的なパラメータを使用したキーフレームアニメーションの作成、動画書き出し方法を学ぶ。						
3回目	[Ae]トランジションの作成。 キーフレームアニメーションを用いてトランジション映像を作成し、発表をする。						
4回目	[Ae]テキストアニメーションを理解し、リリックビデオ制作に役立つ機能を取得する。						
5回目	[Ae]テキストアニメーションを理解し、リリックビデオ制作に役立つ機能を取得する。 エフェクトやテキストアニメーションプリセットを利用し、短いリリックビデオを作成、発表する。						
6回目	[Ae]エフェクトを理解し、ダンスビデオ制作に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材にエフェクトを適用し、エフェクトの機能を学ぶ。						
7回目	[Ae]エフェクトを理解し、ダンスビデオ制作に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材にエフェクトを適用し、動画を作成、発表する。						
8回目	[Ae]自動トラッキング機能について理解し、実写合成に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材と入力したテキストを合成する。						
9回目	[Pr]Premiereの基本操作理解。 新規プロジェクト作成、シーケンス作成、素材の読み込み、カット編集、字幕入力、色調補正、動画書き出し。Youtubeに動画を投稿しURLを共有する。						
10回目	最終課題選定。リリックビデオ・ダンスビデオ、実写合成から最終課題のジャンルを選択し、映像の構成を考える。 アイデア出し〜絵コンテ制作について理解し、完成させる。						
11回目	個人制作						
12回目	個人制作						
13回目	個人制作と最終課題の提出(Youtubeに投稿しリンクを提出する) 到達度テスト						
14回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
15回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
準備学習 時間外学習	定期的メディアやサイト、店舗で雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みをよく考える						
評価方法	筆記又は、実技テストによる採点						
受講生への メッセージ	映像・写真を用いた魅力的な作品（ポートフォリオ）を制作できるようになってください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
Mac,Microsoft office,Adobeアプリケーション							

科目名 (英)	グローバルコミュニケーション Global Communication	必修 選択	選択	年次	1.2.3		
学科・コース	バフォーミングアーツ科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分 曜日・時限	受講者のレベルにより異なる 受講者のレベルにより異なる
【授業の学習内容】 日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。 ※講師 1 実務者経験：2001年より日本にて英会話講師の経験あり ※講師 2 実務者経験：2000年より日本にて教授をしている。小学、中学、高等学校等で英会話の教授経験あり。							
【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	EVOLVE UNIT 01 ※使用テキスト（EVOLVE1.2.3）は受講者レベルにより異なる						
2回目	EVOLVE UNIT 02						
3回目	EVOLVE UNIT 03						
4回目	EVOLVE UNIT 04						
5回目	EVOLVE UNIT 05 授業内小テスト						
6回目	EVOLVE UNIT 06						
7回目	中間試験						
8回目	EVOLVE UNIT 07						
9回目	EVOLVE UNIT 08						
10回目	EVOLVE UNIT 09						
11回目	EVOLVE UNIT 10 授業内小テスト						
12回目	EVOLVE UNIT 11						
13回目	EVOLVE UNIT 12						
14回目	試験前対策						
15回目	期末試験						
準備学習 時間外学 習	事前に教科書を読んでおきましょう。						
評価方法	TOEIC中間・期末試験の結果 60% 授業内小テストの結果 10% 授業内課題への取り組み 10% 出席状況 20%						
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！						
【使用教科書・教材・参考書】 EVOLVE1.2.3 ※受講者のレベルにより異なる							

科目名 (英)	韓国語講座 I Korean	必修 選択	選択	年次	1		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜2限
【授業の学習内容】 文字の読み、書き、発音。挨拶をする/ 自己紹介をする。国籍、趣味、職業、好みを尋ねる。家族紹介をする。場所を尋ねる。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。							
【到達目標】 文字を読める書ける。 簡単な挨拶が出来る。 平易な韓国語が理解でき、初歩的な韓国語でコミュニケーションがとれるようになる							

授業計画・内容	
1回目	ハングルの仕組みと基本母音字
2回目	子音字（1）平音
3回目	子音字（2）激音、濃音
4回目	合成母音字
5回目	パッチム（一文字パッチム、二文字パッチム）
6回目	日本語のハングル表記、辞書引き方、キーボードの打ち方、発音上手になるコツ、小テスト（単語の正しい表記、発音通りの表記）
7回目	自己紹介：私は日本人です（～は、～です、～と申します、～といいます）
8回目	趣味は何ですか？（～が、～は、～ですか）語彙 単語
9回目	韓国人ではありません（～でいらしゃいますか、～ではありません）
10回目	今、日本にいます（あります・います/ありません・いません）、こそあど言葉
11回目	週末には普段何をしていますか？（します、しています、～です、～ですか）
12回目	演劇を見ます（です、ますのかしこまった丁寧語、用言の否定語、動詞の反対語、ハッピーバースデーの歌）
13回目	何料理が好きですか（です、ますの打ち解けた丁寧語）
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	テキストを見て学習した内容の復習をしましょう
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生への メッセージ	前期の授業ですべての韓国語の文字が読めます。文字が読めるとKPOPをもっと楽しめます 自分の名前も韓国語で書いて簡単な自己紹介もできます。
【使用教科書・教材・参考書】 楽しく学べる韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座Ⅱ Korean	必修 選択	選択	年次	1		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜2限
【授業の学習内容】 値段を尋ねる〔買い物〕。予定について話す。道を尋ねる。食事や映画を誘う。希望を述べる。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。 日本認定心理士の資格を持つ。							
いつ、どこ、誰が、なぜ、どのように、いくらなどを使って簡単な会話できる。韓国旅行で買い物ができる。 電車に乗ったり、道を尋ねる事が出来る。食堂で好きな食べ物を注文することなど簡単な会話ができる。							
授業計画・内容							
1回目	とても素敵でよかったです 用言の過去形（～した、～かった、だった）形容詞の反対語						
2回目	この靴いくらですか？漢数詞いち、に さん,,,,, けれど～ですね						
3回目	夕方6時から10時まであります、固有数詞一つ、二つ、三つ,,,,,						
4回目	運転できますか 可能、不可能の表現						
5回目	食事はされましたか 敬語（現在の尊敬語、～なさる、～される/過去の敬語、～なさった）						
6回目	旅行はどこへ行きますようか 勧誘形、しましょう/ざんざいな言い方/助詞～で、～の方へ						
7回目	映画を見たいです ～がしたい/～したがる						
8回目	写真を撮ってもいいですか してもいい/してみる/しないでください禁止						
9回目	報告書を作らなければなりません 義務、条件 しなければなりません						
10回目	コンビニがあるのでそこで尋ねてください 原因、理由 ～だから、～ので						
11回目	何をなさいますか ～します意志や推測の表現						
12回目	冬休みの時何をするつもりですか ～と思います、～のために						
13回目	<期末テスト>						
14回目	9月特別授業						
15回目	9月特別授業						
準備学習 時間外学習	特にありません。						
評価方法	■出席率50％ ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50％						
受講生への メッセージ	文字は読めるようになったので、楽しく、しっかり基礎を勉強することによって、ますます興味を持つようになると思います。 たいことを会話文を作ってどんどん会話しましょう。 同じなので単語はたくさん覚えましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】 楽しく学べる韓国語							

科目名 (英)	韓国語講座 Ⅲ Korean	必修 選択	選択	年次	2		
学科・コース	パフォーマンス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜2限
【授業の学習内容】 初対面の人と話す。趣味、家族、職業について話す。手紙やメールを書く。道案内をする。誘ったり、希望を述べる 感想をいう。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。							
【到達目標】 自己紹介と他人の紹介ができる。交通手段を尋ねる事ができる。手紙やメールを書ける。誘ったり、希望を述べたり、 感想をいう事ができる。							

授業計画・内容	
1回目	お名前は何とおっしゃいますか (インタビューする) 会話 単語 表現
2回目	打ち解けた敬語 ～でいらっしゃいますか/条件、仮定 ～たら /意図、計画 ～ししたいと思います①練習問題 日本語を韓国語に訳する
3回目	朝子といいますが、日本から来ました (自己紹介) 会話 単語 表現
4回目	説明、紹介 ～なので/ 以来、期間～してから/動作の順序～した後で、～する前に 1) メールを読む
5回目	魚は焼かないでください(決まりを言う) 会話 単語 表現
6回目	義務～しなければなりません 2) メールを読む ② 練習問題 日本語を韓国語に訳する
7回目	丁寧な命令、許可、禁止～ください/～でもいいですか/～してはいけません
8回目	ファンの集いに行くことになりました(約束をする) 会話 単語 表現
9回目	形容詞の連体形～な、～い/理由～で、～なので/決心～することになりました ③ 練習問題 日本語を韓国語に訳する
10回目	道を渡って左にずっと行ってください(道案内をする) 会話 単語 表現
11回目	位置を表す語 前、後、左、右/ 手段～で/動作の順序～してから 3) メールを書く
12回目	ファンの集いに行ってみてください…(感想を言う) 会話 単語 表現
13回目	動作、存在しの現在連体形 ～している、～する～/試行、経験 ～してみました
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	特にありません。
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生への メッセージ	日常会話が少しずつ言えるようになります。 KPOPの歌詞も少しずつ訳することができます。
【使用教科書・教材・参考書】 楽しく学べる韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座Ⅳ Korean	必修 選択	選択	年次	2		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜2限
【授業の学習内容】 一日の日課を話す。敬語で丁寧に依頼する。体の具合を言う。人の趣向や性格を言う。間接話法で伝える。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。							
【到達目標】 最近のマイブームや経験したことを話することが出来る。敬語を使ってより丁寧な依頼をすることができる。体の具合を説明できる。間接話法で伝えることができる。							

授業計画・内容	
1回目	「朝子さんの一日」 読解 読んで韓国語で質問したり、答えましょう
2回目	「少し安くしてください」店での買い物 依頼
3回目	～してみてください(勧誘/アドバイス) /～させていただきますか(より丁寧な依頼)
4回目	「私の気持ちですから受け取ってください」(プレゼントする) ～だから(理由)
5回目	～ですね(感嘆) /～そうです、～だろうと思います(推測)
6回目	「咳がひどくて眠れませんでした」(体の具合をいう)
7回目	～出来ない(不可能) /～時、するとき(時間、場合)
8回目	「字幕を見ながら勉強しています」(勉強の仕方を話す)
9回目	～する方です(傾向) /～しながら(同時、並行動作) /～するのが(事柄)
10回目	「今日は来られないそうです」(話を伝える、間接話法)
11回目	～だそうです、～だったそうです(間接話法過去)
12回目	久しぶりに来てみて、どうですか(思い出を話す)
13回目	<期末テスト>
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	特にありません。
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生への メッセージ	日常会話が出来て、一人で韓国に行った場合でも基本的な事柄に対応出来るようになります。
【使用教科書・教材・参考書】 ちょこっとチャレンジ！韓国語	

科 目 名 (英語表記)	キャリア教育Ⅰ	必修 選 択	選択 必修	年 次	1	担当教員	各担任により開講
	学科・コース	パフォーミングアーツ科	授 業 形 態	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
					曜日・時限	各クラスごとに異なる	
【授業の学習内容】							
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。							
【到達目標】							
1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 自己の働く意義（勤労観・職業観）を説明できる 4. 目指す音楽業界を理解し、その特徴を説明できる 5. 自己実現（夢をかなえる）のための目標設定をし実践できる							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	集団（クラス）づくりの理解と実践（集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う）
2 回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
3 回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか？「集団での役割」の理解と実践
4 回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5 回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>
6 回目	グループワーク：音楽業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7 回目	グループワーク：音楽業界研究と自己の進路を考える ①
8 回目	グループワーク：人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9 回目	グループワーク：希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返る
1 0 回目	グループワーク：夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
1 1 回目	グループワーク：音楽業界研究と自己の進路を考える ②
1 2 回目	グループワーク：セルフマネジメント（自己理解）とチームマネジメント（協働作業）の振り返り
1 3 回目	グループワーク：振り返りとこれからの目標を設定する
1 4 回目	CSU検定試験対策
1 5 回目	CSU検定試験
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. O B ・ O G セミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (5 0 %) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (5 0 %)
【使用教科書・教材・参考書】	

科 目 名 (英語表記)	キャリア教育Ⅱ	必修 選 択	選択 必修	年 次	1	担当教員	各担任により開講
学科・コース	パフォーマンスアート科	授 業 形 態		総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。 なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。							
【到達目標】 1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	自己理解 ① 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
2 回目	自己理解 ② 自己PR/履歴書作成 <自己PR ・ 趣味特技>
3 回目	自己理解 ③ 自己PR/履歴書作成 <専門分野 ・ 関心事>
4 回目	自己理解 ④ 自己PR/履歴書作成 <志望動機 ・ 立志作文>
5 回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6 回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7 回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8 回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 +a」を学ぶ
9 回目	社会人準備 ② マネー教育（収入と支出のバランスを学ぶ）
10 回目	社会人準備 ③ 社会保険や税の仕組みなどを学ぶ
11 回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareFSM準備活動> ・ 自己理解とインターンシップ準備 ①
12 回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareFSM準備活動> ・ 自己理解とインターンシップ準備 ②
13 回目	卒業進級制作展 We are FSM
14 回目	卒業進級制作展 We are FSM
15 回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科 目 名 (英語表 記)	キャリア教育Ⅲ	必修 選 択	選択 必修	年 次	2	担当教員	各担任により開講
学科・コース	パフォーマンスアート科	授 業 形 態		総時間 (単 位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。							
【到達目標】							
1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. ホスピタリティを実践し、視野を拡大する。 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる 4. インターンシップ、オーディションなど現場で行動できるコミュニケーション力をつける							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ① 個人スピーチの実施（自己肯定感を高める。）
2 回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ② 個人スピーチの実施（自己肯定感を高める。）
3 回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ③ 個人スピーチの実施（自己肯定感を高める。）
4 回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5 回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6 回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7 回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8 回目	グループワーク ① チームワーク力
9 回目	グループワーク ② プレゼンテーション力
10 回目	グループワーク ③ イノベーション力
11 回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ①
12 回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ②
13 回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ③
14 回目	就職・デビュー対策講座① ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
15 回目	就職・デビュー対策講座② ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OBOGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科 目 名 (英語表 記)	キャリア教育Ⅳ	必 修 選 択	選 択 必 修	年 次	2	担当教員	各担任により開講
		授 業 形 態		総時間 (単 位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。							
【到達目標】							
1. スピーチ能力を高める							
2. 自分自身をしっかり表現できる							
3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる							
4. インターンシップ、オーディションなど現場で行動できるコミュニケーション力をつける							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ① 個人面談（面接練習）
2 回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ② 個人面談（面接練習）
3 回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ③ 個人面談（面接練習）
4 回目	SNSについて学ぶ
5 回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6 回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7 回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8 回目	スピーチ練習 スピーカーとは
9 回目	スピーチ練習 表現力を高める
10 回目	スピーチ練習 相手に伝えるには
11 回目	自己プロフィールを書く 将来の夢
12 回目	自己プロフィールを書く 一番得意な事
13 回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
14 回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
15 回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシック I Dance Basic I	必修 選択	選択 必修	年次	1年		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜1限
【授業の学習内容】 まず、身体を動かす上で大切な「解剖学」身体のどこにどの様についているのかを必要なポイントだけを選択し理解していただきその中で実際に筋トレやボディーケアに繋げていきたいと思います。ただ身体を動かす事と理解して身体を動かす事でコンディショニング、パフォーマンスが大きく左右されます。この授業では上記の内容をしっかりと学びながらダンスなどの動きに繋げてるように進めていきます。その他にも外見の面ボディースタイルや食事栄養管理の面も学びます。 (講師) スポーツ分野、ダンス分野等でのボディーケアトリートメント、栄養指導、運動指導のパーソナルトレーナーとして福岡を拠点に活躍中							
【到達目標】 ①セルフストレッチ、コンディショニングをしっかりと理解し日頃から行う知識、技術を習得する。 ②ダンスなどに必要な筋肉などを理解して自分だけでなく他の学生などに説明できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（これからボディコンディショニング）について
2回目	姿勢のチェック改善について、自分の身体について理解しよう①
3回目	上半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ①基礎編
4回目	上半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ②応用編～まとめ～
5回目	下半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ①基礎編
6回目	下半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ②応用編～まとめ～
7回目	適切なストレッチの種類とその目的を学ぶ スタティックストレッチとバリスティックストレッチ
8回目	トレーニングを行う前になぜ、柔軟性をつける？可動域を先につけることの理由についてメリット&デメリット
9回目	コンディショニング！！身体を動かす前には必ずやるべき動きを習得する
10回目	実は見逃しがち。足の裏（足底）が身体の姿勢の鍵を握っているケアとトレーニング
11回目	体幹は腹筋だけでは不可欠？アウターマッスルとインナーマッスルについて
12回目	自分に適したトレーニングとストレッチでメニュー作成をしよう①
13回目	前期まとめ
14回目	実技試験・評価
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	・授業で学んだトレーニングやストレッチなどはボディコンディショニングの授業以外の日常から実践して頂き常にベストコレクションで学校生活を過ごして頂きたい。
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	筋トレ、トレーニングと聞くと「きつい」などが頭に浮かぶと思いますがまずは、今の皆さんの身体がどうなっているのかを理解した上でストレッチなどからスタートして後半にトレーニングなどを取り入れたいと思います。中にはきついトレーニングもありますが今後の自分のために思い頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシックⅡ Dance BasicⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	1年		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜1限
【授業の学習内容】							
後期では前期で習得した（セルフストレッチ・コンディショニング）の他に怪我をしない身体作り（予防医学）に方向を向けて授業を進め行きます。 特に中心になってくるのが食事・栄養の管理の授業が入ってきます。ここはトレーニング、ストレッチはもちろん大切な事ですが皆さんの身体を支えているのは食事になりますので中心的に学んでいきます。それを踏まえてダイエットやスタイル維持などに繋げていきましょう。 （講師）スポーツ分野、ダンス分野等でのボディーケアトリートメント、栄養指導、運動指導のパーソナルトレーナーとして福岡を拠点に活躍中							
【到達目標】							
①食事・栄養管理など自分には何が必要なのか理解し自分自身の健康を管理できる。 ②ダンスなどに必要な（トレーニング・セルフストレッチ）を習得し実践できるスキルを身に着ける。							

授業計画・内容	
1回目	習得したトレーニング・ストレッチの見直し復習～考え直し～
2回目	食事・栄養について学び理解しよう①～比率は運動 3 割食事 7 割～
3回目	食事・栄養について学び理解しよう②～食事とトレーニングを組み合わせよう～
4回目	姿勢のチェック改善についていま、自分の身体について理解しよう②～前期との評価～
5回目	セルフストレッチとペアストレッチの違い効果についてとメリット・デメリット
6回目	ペアトレーニングで効果＋強度upできる！注意すべき点とメリット・デメリット
7回目	ジャンプや切り返しなど動きの中でのトレーニングについて
8回目	睡眠について学び理解しよう～皆さんの睡眠時間は1日どれくらいですか？～
9回目	運動・食事・睡眠について～この3つはどれも欠けてはいけない～
10回目	自分に適したトレーニングとストレッチでメニュー作成をしよう②～全体を通しての組みなおし～
11回目	トレーニング・ストレッチの復習・食事栄養管理について見直し
12回目	実技試験
13回目	実技試験・評価
14回目	卒業進級制作準備
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	後期では、トレーニング・セルフストレッチはもちろん学びますが、食事・栄養管理も勉強します。日頃の食事などを見直して少しでも意識をして取り入れてみてください。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	後期はミュージカルや発表に向けて怪我などをしないような身体作りを考えて授業を進めていきます。怪我でできない、出られないようにならないようにトレーニング・セルフストレッチはもちろん食事・栄養の授業も行いますのでスタイル維持などにも繋げてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシックⅢ Dance BasicⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2年		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜2限
【授業の学習内容】							
1 年次に学んだ内容を復習し今後、業界で必要とされるダンサーとしてのスキル（持久力・柔軟性・筋力）を中心に強化しパフォーマンスUPはもちろん怪我をしない身体作りを行い、自主的にできるように繰り返し行いながらスキルを身につけていく。その他にもボディスタイルを整える、維持するための知識なども同時に身につける。 （講師）スポーツ分野、ダンス分野等でのボディーケアトリートメント、栄養指導、運動指導のパーソナルトレーナーとして福岡を拠点に活躍中							
【到達目標】							
・前期の授業が終了するまでにダンサーとしてのスキル（持久力・柔軟性・筋力）を80%理解し実践できるようになる。 ・ボディスタイルなども自己管理することができオーディションなどで必要とされる身体作りの知識を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	目標設定と今後の授業の進め方について
2回目	スキルチェック①（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
3回目	上半身のストレッチ・トレーニング基礎（個人で行うメニュー）
4回目	下半身のストレッチ・トレーニング基礎（個人で行うメニュー）
5回目	上半身のストレッチ・トレーニング基礎（ペア・グループで行うメニュー）
6回目	下半身のストレッチ・トレーニング基礎（ペア・グループで行うメニュー）
7回目	食事の管理を行う①（現在食べている食事について見直そう）
8回目	スキルチェック②（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
9回目	現在のコンディションスキルに合ったストレッチ・トレーニングを考える①
10回目	現在のコンディションスキルに合ったストレッチ・トレーニングを考える②
11回目	睡眠の管理を行う①（現在の睡眠はどれくらいかそれが今後のコンディションにどう繋がるのか）
12回目	前期最終スキルチェックに向けての応用
13回目	スキルチェック③（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
14回目	後期に向けて前期の振り返り〜どう成長したか今後の目標について〜
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	・パフォーマンスUPするには見えない所での自分に対して、ケアやリラクゼーションにどれだけの時間を使えるかだと思います。 授業で学んだ事はまず一度、自分に合うものが復習する。
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	この1年でたくさんのスキルを身につけて業界で活躍できるダンサー・アーティストを目指そう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシックⅣ Dance BasicⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2年		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜2限
【授業の学習内容】 業界で必要とされるためのスキルを完全に取得し、卒業して即戦力で活動できるように仕上げていく！また前期に目標を立てその目標に到達できるよう1年から学んだ内容を復習し自分に必要なストレッチ・栄養・睡眠など100%理解する。 （講師）スポーツ分野、ダンス分野等でのボディーケアトリートメント、栄養指導、運動指導のパーソナルトレーナーとして福岡を拠点に活躍中							
【到達目標】 ・業界で必要とされるためのスキルを身につけて自信を持って業界で活動できるようになる。 ・1年次を含めストレッチ・栄養管理・睡眠を100%理解できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	スキルチェック④（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
2回目	後期の目標設定と今後の授業の進め方について
3回目	上半身のストレッチ・トレーニング応用（個人で行うメニュー）
4回目	下半身のストレッチ・トレーニング応用（個人で行うメニュー）
5回目	上半身のストレッチ・トレーニング応用（ペア・グループで行うメニュー）
6回目	下半身のストレッチ・トレーニング応用（ペア・グループで行うメニュー）
7回目	スキルチェック⑤（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
8回目	食事の管理を行う②（現在食べている食事について見直そう）
9回目	睡眠の管理を行う②（現在の睡眠はどれくらいかそれが今後のコンディションにどう繋がるのか）
10回目	最終スキルチェックに向けての応用・確認
11回目	最終スキルチェック⑥（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
12回目	年間を通しての振り返り、目標達成できたか
13回目	実技試験・評価
14回目	卒業進級制作準備
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	スキルテストなどをスポットで入れてますのでそれに対応できるように常に自己管理を行いましょう！
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	残り少ない学校生活、怪我のなくイベントなどにも率先して取り組み素晴らしいダンサー・アーティストとして卒業しよう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	マルチパフォーマンス I	必修 選択	選択必修	年次	1		
	Multi Performance I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】							
自分の理想の歌声や目標に向けて、ヴォイストレーニングの基本部分を学んでいく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。							
((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
自分の理想の歌声に向かって、なぜヴォイストレーニングをする必要なのかを理解し、発声の基本項目を習得し、なおかつ習慣化し行う出来る。							
授業計画・内容							
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール）						
2回目	発声①＋課題曲①レクチャー						
3回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習						
4回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習						
5回目	発声①②（表情筋）＋課題曲②レクチャー						
6回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習						
7回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習						
8回目	発声①②③（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音）＋課題曲③レクチャー						
9回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習						
10回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習						
11回目	発声①②③④（声帯周りの筋肉をストレッチする）、課題曲④レクチャー						
12回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習						
13回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習						
14回目	発声総復習（疑問点確認）						
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）						
準備学習 時間外学習	各発声方法、楽曲の復習						
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%						
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！						
【使用教科書・教材・参考書】							
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具							

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
	Multi Performance Ⅱ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】							
自分の理想の歌声や目標に向けて、ヴォイストレーニングの基本部分を学んでいく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。 ((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
発声の基本項目＋新しいアプローチ方法を習得し、なおかつ習慣化し行う出来る。							
授業計画・内容							
1回目	発声①②③④⑤（共鳴）、課題曲⑤レクチャー						
2回目	発声①②③④⑤復習＆チェック＋課題曲⑤復習						
3回目	発声①②③④⑤復習＆チェック＋課題曲⑤復習						
4回目	発声①②③④⑤⑥（裏声）＋課題曲⑥復習						
5回目	発声①②③④⑤⑥復習＆チェック＋課題曲⑥復習						
6回目	発声①②③④⑤⑥復習＆チェック＋課題曲⑥復習						
7回目	発声①復習＆様々なスケール＋課題曲⑦レクチャー						
8回目	発声①復習＆チェック＋課題曲⑦復習						
9回目	発声①復習＆チェック＋課題曲⑦復習						
10回目	発声①②③④⑤⑥総復習、発表会に向けて選曲してみよう						
11回目	発声レベルチェックテスト＋発表会に向けて						
12回目	発表会、後期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）						
13回目	卒業進級制作リハーサル						
14回目	卒業進級制作リハーサル						
15回目	卒業進級制作本番						
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習						
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%						
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！						
【使用教科書・教材・参考書】							
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具							

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
	Multi Performance Ⅲ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
自分の理想の歌声や目標に向けて、ヴォイストレーニングの基本部分のアプローチ方法を増やし、より細かく学んでいく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。							
((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
基本的な発声＋アプローチ方法を取得し、より深い発声力を身につけて習慣にして取り組む事が出来る。							
授業計画・内容							
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋）						
2回目	発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋）＋課題曲①レクチャー						
3回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習						
4回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習						
5回目	発声①②（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音）＋課題曲②レクチャー						
6回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習						
7回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習						
8回目	発声①②③（声帯周りの筋肉をストレッチする）＋課題曲③レクチャー						
9回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習						
10回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習						
11回目	発声①②③④（共鳴）、課題曲④レクチャー						
12回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習						
13回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習						
14回目	発声総復習（疑問点確認）						
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）						
準備学習 時間外学習	各発声方法、楽曲の復習						
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%						
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！						
【使用教科書・教材・参考書】							
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具							

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅣ		必修 選択	選択必修	年次	2			
	Multi Performance Ⅳ		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)		開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンスアート科							曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】									
自分の理想の歌声や目標に向けて、前期で学んだ基本の発声方法 4 項目をベースに、様々なスケールやアプローチ方法を使い、より深掘りしていく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。									
((講師プロフィール))									
福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。									
【到達目標】									
基本的な発声 + 様々なスケール感の中で実践する事ができ、より深い発声力を身につけて習慣にして取り組む事が出来る。									
授業計画・内容									
1回目	発声①②③④⑤（裏声）、課題曲⑤レクチャー								
2回目	発声①②③④⑤復習＆チェック、課題曲⑤レクチャー								
3回目	発声①②③④⑤復習＆チェック、課題曲⑤レクチャー								
4回目	発声①復習＆様々なスケール + 課題曲⑥レクチャー								
5回目	発声①復習＆チェック＋課題曲⑥復習								
6回目	発声②復習＆様々なスケール＋課題曲⑦レクチャー								
7回目	発声②復習＆チェック＋課題曲⑦レクチャー								
8回目	発声③復習＆母音を変えてみよう＋課題曲⑧レクチャー								
9回目	発声③復習＆チェック＋課題曲⑧復習								
10回目	発声復習＆チェック＋課題曲⑧復習								
11回目	発声レベルチェックテスト＋発表会に向けて								
12回目	発表会、後期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）								
13回目	卒業進級制作リハーサル								
14回目	卒業進級制作リハーサル								
15回目	卒業進級制作本番								
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習								
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%								
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！								
【使用教科書・教材・参考書】									
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具									

科目名 (英)	ダンススタイル I	必修 選択	選択必修	年次	2		
	Dance Style I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜 5 限
学科・コース	パフォーマンスアート科						
【授業の学習内容】 ストレッチ、体感トレーニング。フロアトレーニング。 ブレイキンに必要なフットワーク&スキルトレーニング。 振り付け（ブレイキン） （講師）USJ振付担当							
【到達目標】 フロアでのボディーコントロール習得。 ブレイキンに必要なステップ&フットワーク&フリーズ習得 ステップ、フットワーク、フリーズを自由に組み立てて、ソロが踊れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
2回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
3回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
4回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
5回目	フロアトレーニング、ステップ、フットワーク ① 振り付け
6回目	フロアトレーニング、ステップ、フットワーク ② 振り付け□
7回目	フロアトレーニング、ステップ、フットワーク ③ 振り付け□
8回目	フットワーク、フリーズ ① 振り付け
9回目	フットワーク、フリーズ ② 振り付け
10回目	フットワーク、フリーズ ③ 振り付け
11回目	フットワーク組み立て ① 振り付け
12回目	フットワーク組み立て ② 振り付け
13回目	フットワーク組み立て ③ 振り付け
14回目	実技試験
15回目	まとめ・復習
準備学習 時間外学習	振付の復習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	フロアでのボディーコントロール能力、フロアスキルをUPさせて、一緒にレベルUPを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい服装。動きやすいスニーカー。	

科目名 (英)	ダンススタイルⅡ Dance StyleⅡ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜日、5限
【授業の学習内容】 ストレッチ、体感トレーニング。フロアトレーニング。 ブレイキンに必要なフットワーク&スキルトレーニング。 振り付け（ブレイキン） （講師）USJ振付担当							
フロアでのボディーコントロール習得。 ブレイキンに必要なステップ&フットワーク&フリーズ習得 ステップ、フットワーク、フリーズを自由に組み立てて、ソロが踊れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	フロアトレーニング、スキルトレーニング ①
2回目	フロアトレーニング、スキルトレーニング ②
3回目	フロアトレーニング、スキルトレーニング ③
4回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ① 振り付け
5回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ② 振り付け
6回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ③ 振り付け
7回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ④ 振り付け
8回目	即興でソロで踊るトレーニング
9回目	即興でソロで踊るトレーニング
10回目	即興でソロで踊るトレーニング
11回目	即興でソロで踊るトレーニング
12回目	後期まとめ
13回目	実技試験
14回目	卒業進級制作リハーサル
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	振付の復習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	フロアでのボディーコントロール能力、フロアスキルをUPさせて、一緒にレベルUPを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい服装、動きやすいスニーカー	

科目名 (英)	ダンススタイルⅢ Dance StyleⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水2限
【授業の学習内容】 ストリートの基礎と応用を身につける。 (講師) クラブ等show出演の他、sunsetliveなどの野外フェス出演、インストラクター、ダンスコンテスト審査員、振付等、福岡を拠点に幅広い分野でダンサーとして活躍中。							
【到達目標】 1人で踊る感覚を身につけ、自己表現力を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け①
2回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け②
3回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け③
4回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け④
5回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑤
6回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑥
7回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑦
8回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑧
9回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑨
10回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑩
11回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑪
12回目	実技試験
13回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	リズム、アイソレーション、振り付けの復習。
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	自己表現がしっかりできるダンサーを目指して下さい。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンススタイルⅣ Dance StyleⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水2限
【授業の学習内容】 ストリートの基礎と応用を身につける。 (講師) クラブ等show出演の他、sunsetliveなどの野外フェス出演、インストラクター、ダンスコンテスト審査員、振付等、福岡を拠点に幅広い分野でダンサーとして活躍中。							
【到達目標】 1人で踊る感覚を身につけ、自己表現力を習得する。 振り付けとソロの違いを理解する。 自分で振付を作る。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション①
2回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション②
3回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション③
4回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション④
5回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション⑤
6回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション⑥
7回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション⑦
8回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション①
9回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション②
10回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション③
11回目	後期まとめ
12回目	実技試験
13回目	卒業進級制作準備
14回目	卒業進級制作リハーサル
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	リズム、アイソレーション、振り付けの復習。
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	自己表現がしっかりできるダンサーを目指して下さい。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅠ	必修 選択	選択必修	年次	1		
	VoiceTrainingⅠ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜日 1 限目
【授業の学習内容】 ①Chestレジスター内もしくは少しMiddleレジスターに入るくらいのエリアで歌い、安心と安定を作る。 ②それぞれの声の特性を知り、それに則したトレーニングをする。 ③Headレジスターをじっくり作っていく。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ①自分の声と向き合う習慣を持つ。 ②このトレーニングで行う3つのスケールを覚えて、歌うことができる。(5ノート、オクターブ、オクターブ&ハーフ) ③楽曲練習にボーカライゼーションを取り入れる習慣を持つ。 ④ステージ経験をする。							

授業計画・内容	
1回目	【どんな授業?】言葉は構成する要素には子音と母音があり、歌う際はこれのコンビネーションを使う。このクラスではそれらを分解し、スケール練習に入れることで、歌う下地を作る。自己紹介好きなアーティストを教えてください。好きな曲を教えてください。どうしてこの曲が好きなのか、どうしてこの曲をお手本にしたいのかまで聞く。こちらの到達目標も話し共有する。→トレーニング方法の講義、実演。(Liproll、Mum) 次回1コーラス歌ってみよう。
2回目	自分の好きな曲を歌ってみよう!!これを通してそれぞれの声の特徴を知っていきます。3つのトレーニング用スケールのレクチャー。ピアノで弾けるように。
3回目	始めはオの母音を中心にトレーニングをし、口を縦に開ける基礎を作る。課題曲①を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。ボーカライゼーションも。
4回目	オの母音をまず復習し、アの母音にも応用するように口を開ける。課題曲①をセクションを跨いで歌唱。
5回目	ウの母音をレクチャー&実演。オとアのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲①を1コーラス歌唱してみよう。
6回目	イの母音をレクチャー&実演。オとアとウのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲②を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。
7回目	エの母音をレクチャー&実演。オとアとウとイのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲②をセクションを跨いで歌唱。
8回目	全ての基本的な母音の口の開け方と共鳴をリラックスした状態でどこからどこまで歌えるのかを知る。課題曲②を1コーラス歌唱してみよう。
9回目	全ての基本的な母音の口の開け方と共鳴をリラックスした状態でどこからどこまで歌えるのかを知る②。課題曲③を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。
10回目	3つのスケールをピアノで弾けるかをチェック。エクササイズ。課題曲③をセクションを跨いで歌唱。
11回目	質疑&応答。エクササイズ。課題曲③を1コーラス歌唱してみよう。
12回目	課題曲①～③の中から1曲を選曲し、ステージで歌唱する。
13回目	振り返りとトレーニング。
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学習	スケールの理解の為の反復。エクササイズを体現するための反復。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	常に今のMyBestを録音しよう!!完璧じゃなくていい。後で聞いたときにきっと過去も今も誇れると思いますよ!!練習をする事で自分の事を知ろう!!経験を重ねることで成長しますので、その経験を重ねる努力をしていこう。
【使用教科書・教材・参考書】 ipad	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅡ VoiceTrainingⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜日 1 限目
【授業の学習内容】 ①Chestレジスター〜Middleレジスターに入り、そのエリアで歌い、安心と安定を作る。 ②それぞれの声の特性を知り、それに則したトレーニングをする。 ③Headレジスターへの行き来をエクササイズに取り入れる。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスベルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ①自分の声と向き合う習慣を持つ。 ②このトレーニングで行う3つのスケールをゆっくりでも弾きながら、歌うことができる。(5ノート、オクターブ、オクターブ＆ハーフ) ③楽曲練習にボーカライゼーションを取り入れる習慣を持つ。 ④ステージ経験を積み重ねる。							

授業計画・内容	
1回目	前期を通して自分の声と向き合ってきて気づいたことをシェアしてみよう!! 3タイプに分ける。課題曲④を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
2回目	LightChest、PullChest、Flipの3タイプのどれに属するかを診て、エクササイズを処方する。(個人をみるアプローチ) 課題曲④をセクションを跨いで歌唱。
3回目	それぞれのエクササイズへのアプローチを聴きながらアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲④を1コーラス歌唱してみよう。
4回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
5回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤をセクションを跨いで歌唱。
6回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤を1コーラス歌唱してみよう。
7回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
8回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥をセクションを跨いで歌唱。
9回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥を1コーラス歌唱してみよう。
10回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。教室内リハ(曲を選んで歌唱)
11回目	後期の課題曲の中から1曲を選曲し、ステージで歌唱する。
12回目	振り返りとトレーニング。
13回目	振り返りとトレーニング。
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	自分に処方されたトレーニングを練習し、向き合う時間と歌の練習。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	今までのMyBestの積み重ね、聞いてみましたか？時に過去の自分の歌から今の自分へのヒントが見つかることがありますよ。沢山の歌の思い出を作って行ってください。
【使用教科書・教材・参考書】 ipad	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅢ Voice training Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2		
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜日 2 限目
【授業の学習内容】 ①シンガーにとって必要なヴォイストレーニングの基礎知識やノウハウを、実践を交えながら教えていく。また練習経過を丁寧に観察し、細やかなフィードバックや更なる練習法の提示、その後再度経過観察、を繰り返しながら声の基礎作りのサポートをする。 ②発声トレーニング（①）で学んだことを活かし歌唱の中で実践出来るようにレクチャーする。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 声の基礎が固まり、様々な課題曲を自信を持って歌いこなすことが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	【発声】1年生の復習・呼吸・低音・表情筋の強化 【歌唱】共通 Bridge over troubled water (Simon&Garfunkel/LeannRimes) 発音・コツ・1 番を歌ってみよう
2回目	【発声】呼吸・低音・表情筋の徹底トレーニング 【歌唱】共通 Bridge over troubled water (Simon&Garfunkel/LeannRimes) 復習・1 曲通して歌ってみよう
3回目	【発声】ソルフェージュ・イーストレッチ・裏声 【歌唱】Bridge over troubled water (Simon&Garfunkel/LeannRimes) ミニ発表会・1 人ずつ前で歌ってみよう
4回目	【発声】呼吸・低音・表情筋・イーストレッチの徹底トレーニング 【歌唱】男 Fly me to the moon (FrankSinatra) 女 Top of the world (Carpenters) ※以下進行は1 曲目同様
5回目	【発声】ソルフェージュ・スタッカート・メミマム 【歌唱】男 Fly me to the moon (FrankSinatra) 女 Top of the world (Carpenters)
6回目	【発声】クラシック発声・ロングトーン 【歌唱】男 Fly me to the moon (FrankSinatra) 女 Top of the world (Carpenters)
7回目	【発声】まとめの小テスト 【歌唱】男 Your song (EltonJohn) 女 The climb (MileyCyrus)
8回目	【発声】1対1での細かいチェックとフィードバック 【歌唱】男 Your song (EltonJohn) 女 The climb (MileyCyrus)
9回目	【発声】前回からの経過チェック 【歌唱】男 Your song (EltonJohn) 女 The climb (MileyCyrus)
10回目	【発声】呼吸・低音・表情筋の徹底トレーニング 【歌唱】男 Love me tender (ElvisPresley) 女 So far away (CaroleKing) ※今回のみ仕上げ2 週間です
11回目	【発声】スタッカート・メミマム・ソルフェージュ・ロングトーン・クラシック発声の徹底トレーニング 【歌唱】男 Love me tender (ElvisPresley) 女 So far away (CaroleKing)
12回目	曲決定・勘所のチェック・衣装の打ち合わせ・発表会のリハーサル
13回目	全体発表会 (1 人 1 曲・課題曲の中から選曲しステージで歌ってみよう)
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	人前で楽しく自信を持って歌えるように全力でサポートします！ いっぱい練習して来てください！
【使用教科書・教材・参考書】 歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2		
	Voice training Ⅳ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜日 2 限目
【授業の学習内容】 ①シンガーにとって必要なヴォイストレーニングの基礎知識やノウハウを、実践を交えながら教えていく。また練習経過を丁寧に観察し、細やかなフィードバックや更なる練習法の提示、その後再度経過観察、を繰り返しながら声の基礎作りのサポートをする。 ②発声トレーニング（①）で学んだことを活かし歌唱の中で実践出来るようにレクチャーする。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 声の基礎が固まり、様々な課題曲を自信を持って歌いこなすことが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	【発声】前期の復習・個々の経過チェック 【歌唱】男She (ElvisCostello) 女Rainydays and mondays (Carpenter s) 発音・コツ・1 番を歌ってみよう
2回目	【発声】呼吸・低音・イーストレッチ強化 【歌唱】男She (ElvisCostello) 女Rainydays and mondays (Carpenter s) 復習・1 曲通して歌ってみよう
3回目	【発声】ソルフェージュ・クラシックボイス・裏声強化 【歌唱】男She (ElvisCostello) 女Rainydays and mondays (Carpenter s) ミニ発表会・1 人ずつ前で歌ってみよう
4回目	【発声】表情筋・ソルフェージュ・イーストレッチ強化 【歌唱】男Can you feel the love tonight (EltonJohn) 女Milion reasons (LadyGaga) ※以下進行は1 曲目同様
5回目	【発声】1 対 1 での細かいチェックとフィードバック 【歌唱】男Can you feel the love tonight (EltonJohn) 女Milion reasons (LadyGaga)
6回目	【発声】前回からの経過チェック 【歌唱】男Can you feel the love tonight (EltonJohn) 女Milion reasons (LadyGaga)
7回目	【発声】呼吸・低音・表情筋・ソルフェージュテスト 【歌唱】男Home (MichealBuble) 女Killing me softly (RobertaFlack)
8回目	【発声】スタカート・メソッド・クラシックボイステスト 【歌唱】男Home (MichealBuble) 女Killing me softly (RobertaFlack)
9回目	【発声】イーストレッチ・裏声テスト 【歌唱】男Home (MichealBuble) 女Killing me softly (RobertaFlack)
10回目	【発声】1 年間のまとめ・質疑応答 【歌唱】男Home (MichealBuble) 女Killing me softly (RobertaFlack) 後期発表会の曲決め
11回目	勘所のチェック・衣装の打ち合わせ・発表会のリハーサル
12回目	全体発表会（1 人 1 曲・課題曲の中から選曲しステージで歌ってみよう）
13回目	振り返りとトレーニング。
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	人前で楽しく自信を持って歌えるように全力でサポートします！ いっぱい練習して来てください！
【使用教科書・教材・参考書】 歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンス I	必修 選択	選択 必修	年次	1		
	Vocal Performance I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーミングアーツ科					曜日・時限	月曜日 3 限目
【授業の学習内容】 ピアノ一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ピアノデュオというスタイルを、ピアニストと共に創り上げられるようになる。ピアノ以外に頼る部分がないことから、より一層歌唱を仕上げていけるようになる。ピアニストに明確に自分のイメージを演奏の形に指示できるようになる。フレージングやキー設定など、個々のスキルに沿っての歌唱デザインが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①The Roseレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
2回目	①復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ、コーラスワークレクチャー
3回目	①復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
4回目	②The long and winding road レクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
5回目	②復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
6回目	②復習、発表、フルコーラス仕上げ
7回目	③You light up my life, Now and foreverレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
8回目	③復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
9回目	③復習、発表、フルコーラス仕上げ
10回目	④I won't last a day without you, Honestyレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
11回目	④復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
12回目	④復習、発表、フルコーラス仕上げ
13回目	学期末発表会
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ピアノデュオというスタイルはヴォーカリストそのものが際立つ、非常にシンプルでダイレクトなスタイルです。このスタイルを習得することにより、ヴォーカリストとしての自信もつけていきながら、より繊細に、よりダイナミックに、自分の持つ力を更に磨いていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	1		
	Vocal Performance Ⅱ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーミングアーツ科					曜日・時限	月曜日 3 限目
【授業の学習内容】 ピアノ一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ピアノデュオというスタイルを、ピアニストと共に創り上げられるようになる。ピアノ以外に頼る部分がないことから、より一層歌唱を仕上げていけるようになる。ピアニストに明確に自分のイメージを演奏の形に指示できるようになる。フレージングやキー設定など、個々のスキルに沿っての歌唱デザインが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	⑤Colorblind,Sheレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
2回目	⑤復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,レクチャー
3回目	⑤復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
4回目	⑥Let it rain,Hard to say I'm sorryレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
5回目	⑥復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,レクチャー
6回目	⑥復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
7回目	⑦Bridge over troubled waterレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
8回目	⑦復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,レクチャー
9回目	⑦復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
10回目	⑧Let it beレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
11回目	⑧復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,レクチャー
12回目	総合発表会 本番
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ピアノデュオというスタイルはヴォーカリストそのものが際立つ、非常にシンプルでダイレクトなスタイルです。このスタイルを習得することにより、ヴォーカリストとしての自信もつけていながら、より繊細に、よりダイナミックに、自分の持つ力を更に磨いていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
	Vocal Performance Ⅲ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンスアーツ科					曜日・時限	月曜日 3 限目
【授業の学習内容】 ピアノ一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 リズムやグルーヴを意識して歌えるようになろう♪ タイミングをコントロールして歌えるようになろう♪ ダイナミックスを用いて音楽的に歌えるようになろう♪ リズム、タイミング、ダイナミックスを用いたアンサンブルができるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	デュオアンサンブルの要素を知り、可能性を見つけよう
2回目	基本となるテンポ、ビートを意識して歌えるようになろう
3回目	グルーヴを体感して躍動感のある歌を歌えるようになろう
4回目	タイミングを意識して歌えるようになろう
5回目	タイミングをコントロールして歌えるようになろう
6回目	リズムとタイミングを用いて歌ってみよう
7回目	小テスト
8回目	楽曲のダイナミックスを意識して歌えるようになろう
9回目	楽曲のダイナミックスをコントロールして歌えるようになろう
10回目	リズムとダイナミックスを意識して歌えるようになろう
11回目	タイミングとダイナミックスを意識して歌えるようになろう
12回目	リズムとタイミングとダイナミックスを意識して歌ってみよう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 歌唱 音源 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
	Vocal Performance Ⅳ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーミングアーツ科					曜日・時限	月曜日 3 限目
【授業の学習内容】 ピアノ一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 リズムパターンやテンポ感や曲のムードを指示して、その変化の中で歌えるようになる♪ 伴奏者の意図を読み取り呼吸を合わせて歌えるようになる♪ 合図やアイコンタクトを使い演奏をコントロールしながら歌えるようになる♪ 自身の歌唱力や発声力が活かせるキーで、アンサンブル要素を用いた総合的な歌唱ができるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	リズムパターンやテンポの変化を意識して歌えるようになる♪
2回目	リズムパターンやテンポをコントロールして歌えるようになる♪
3回目	伴奏者のプランに合わせて歌えるようになる♪
4回目	伴奏者と共に演奏をプランして歌えるようになる♪
5回目	リズム、タイミング、ダイナミクス、リズムパターン、テンポを用いて歌ってみよう
6回目	小テスト
7回目	合図やアイコンタクトを意識して歌えるようになる♪
8回目	合図やアイコンタクトで伴奏をコントロールして歌えるようになる♪
9回目	ニュートラルなポイントを見つけ、周りを観て聴いて歌えるようになる♪
10回目	周りを観て聴いて、アンサンブル要素を用いて歌えるようになる♪
11回目	歌唱要素とアンサンブル要素を合わせて歌ってみよう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 歌唱 音源 振り返りシート	

科目名 (英)	ミュージックセオリーⅡ Music TheoryⅡ	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 コード理論を学ぶにあたって、楽曲分析や作曲など創作に必要な知識を得る。							

授業計画・内容	
1回目	<マイナースケール> マイナースケールの仕組み、5 度圈を用いてナチュラルマイナーの説明
2回目	<マイナースケール> ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの説明
3回目	<近親調> 各調の関係を楽譜を用いて知る
4回目	<移調> 5 線を用いて移調ができるようになる
5回目	<奏法> 省略記号、奏法記号、装飾記号を知る
6回目	確認テスト
7回目	復習・解説
8回目	<トライアド> コードの概念とトライアドの構造について知る
9回目	<7thコード> トライアドの知識を踏まえ7thコードに発展させる
10回目	<dim7と7thコードの復習> トライアドと7thコードの響きの違いを曲を用いて知る。dimコードの構造と響き
11回目	<その他のコード> add9,sus4,6thコードについて知る
12回目	テスト対策
13回目	期末予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	コードについてのプリントで宿題がです。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	コードについて学ぶことは全ての演奏者にとって大切なことです。頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	ミュージックセオリーⅢ Music TheoryⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 メジャーダイアニックコードからマイナーダイアニックコードまでと、マイナーキーにおけるケーデンスまで。							

授業計画・内容	
1回目	＜メジャーダイアニックコード＞ダイアニックコードについて、コードネームとディグリーネームを書けるようにする
2回目	＜メジャーダイアニックコードの機能＞各機能の意味を知る、主要和音。代理和音について
3回目	＜ケーデンス＞終止形、ドミナントモーション、ⅡⅤ、セカンダリドミナント、偽終始について
4回目	＜転回形＞転回形の表記方法 ト音記号を用いた簡単なヴォイシング
5回目	＜ヴォイシング、複合拍子＞ケーデンスを実際に5線紙に書いてみる、8分の6拍子について詳しく学ぶ
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	＜マイナーダイアニックコード＞マイナーダイアニックコードの仕組み
9回目	＜マイナーダイアニックコード＞ハーモニックマイナー、メロディックマイナーのダイアニック
10回目	＜マイナーダイアニックコードの機能＞マイナーコードが持つ機能について知る
11回目	＜ヴォイシング＞マイナーキーにおけるケーデンスについて知る
12回目	＜スコアリーディング＞楽譜と音源を用いて後半の総復習
13回目	予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外学 習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	どんどん難しくなりますが、一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	ミュージックセオリーⅣ Music TheoryⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 テンションの入るコード・ノンダイアトニックコードの入るコード進行の分析などが行えるようになる コード進行とスケールの関係を理解する							

授業計画・内容	
1回目	<ノンコードトーン> ノンコードトーン(経過音、刺繍音、掛留音、先取音、逸音)
2回目	<テンション> テンションの種類、コード使用可能テンション
3回目	<テンションリゾルブ> テンションの解決法、Omitの意味
4回目	<アベイラブルノートスケール> コードトーン、テンション、阿保井戸ノートについて、スケールの使い方について
5回目	<その他のスケール> マイナーのアベイラブルの紹介、ドミナントスケール、その他のスケール
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	<代理コード> メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードを中心にダイアトニック外の代理コードも知る
9回目	<代理コード> メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードを中心にダイアトニック外の代理コードも知る
10回目	<クリシェ、バッシング、定番コードパターン> クリシェ、バッシングコードの手法を学び、コードパターンを発展させる
11回目	<転調> 転調のパターンを知り、実践する
12回目	<アナライズ> 楽譜を用い、総復習を行う
13回目	テスト対策
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	2年間の集大成です、頑張りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅡ Ear TrainingⅡ	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 コードを聞きとる力、メロディを書きとる力を養い、実践に生かすこと。							

授業計画・内容	
1回目	<マイナースケール> リス`ム総復習、マイナーメロディの視唱、音程ドリル、メジャー、マイナーの聞きわけ
2回目	<マイナースケール> リス`ム、3連譜の導入、メロディ復習C～Gまで、Cマイナースケールのメロディ視唱、コードC、F、Gの聞きわけ
3回目	<近親調> リス`ムC、F、Gコード付け導入、後付け、メロディC～Aまでの臨時記号後付け、マイナースケールのメロディ視唱、音程ドリル
4回目	<移調>リス`ム 1 6 分 8 分 1 6 分の導入、メロディC～Aまで臨時記号後付け、音程ドリル復習
5回目	<奏法> リス`ム符点 8 分 1 6 分の導入、タイの導入、後付け、メロディC～Bまで臨時記号後付け、音程ドリル復習
6回目	<中間テスト>
7回目	<復習・解説>
8回目	<コード> リス`ム復習、メロディ低音部の書きとり、音程ドリル復習メジャーマイナーの聞きわけ
9回目	<コード4和音> リス`ム8分の6拍子、8分1 6分1 6分の導入、低音部の書きとり、音程ドリル復習
10回目	<Dim7と7thコード復習> リス`ム1 6分休符の導入、8分の6拍子、1 6、1 6、8分の導入、2声メロディ聞きとり
11回目	<その他のコード> 復習リス`ム打ち8分の6拍子、3連譜の導入、2声メロディ、音程ドリル復習
12回目	テスト対策
13回目	期末予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	特にはなし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	慣れるとどんどんできてきます、お楽しみに！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅢ Ear TrainingⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 EtⅠ、Ⅱをふまえて2声メロディ、ハーモニー、1, 3, 4, 5, 6, 7, 8、度音程、コード進行、タイ、臨時記号付きなどより難易度が高い聴きとり、書きとりをできるようにすること。							

授業計画・内容	
1回目	リス`ム4分の4、4分の3拍子の聴きとり、8分の6拍子のリス`ム打ち。メロディ1オクターブと2声メロディ書きとり。
2回目	リス`ム打ち8分の6拍子、メロディは1オクターブ+低音B、Cmの聴きとり、2声ハーモニーの導入、3度音程のハーモニー練習、IⅣVの進行
3回目	リス`ム4分の4、4分の3のタイ付き、8分の6書きとり、2声ハーモニーと3度の音程、IⅣVの進行その②
4回目	リス`ム4分の4、4分の3に16分音符の導入、メロディは1オクターブ+低音A、Amでのメロディ聴きとり、トライトーンハーモニーの練習
5回目	リス`ム4分の4、4分の3に16分音符、タイの導入、メロディは2オクターブ+低音A、Amでのメロディ聴きとり、2声ハーモニーの練習
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	リス`ム4分の4、4分の3、8分の6、メロディはKeyF、2声。ハーモニーの復習、コードⅡⅤⅠの聴きとり
9回目	8分の6、タイ付きリス`ム導入、メロディはKeyF、2声メロディ、ハーモニー復習
10回目	リス`ムはそれぞれにタイと符点付き、メロディは16分音符を導入、2声ハーモニーはオクターブとユニゾン`ンの練習
11回目	タイ付きリス`ム書きとり、2声ハーモニーの復習
12回目	総合復習
13回目	予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外学 習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	より専門的な勉強です。基礎をしっかり学びましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅣ Ear TrainingⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 スコアをみた段階で歌えたり、コード進行を考えたり、自分の音楽に対して有効な基礎を生分集大成。							

授業計画・内容	
1回目	リス'ム 4分の4、4分の3、8分の6 拍子復習、メロディはKEY=G。8分の6メロディ視唱、2声メロディは1 6分3連譜導入
2回目	リス'ム 4分の4、4分の3、8分4分8分の導入、この週から8分の6はメロディ問題と統合、2声メロディ、ハーモニー復習、コード聞き分け
3回目	リス'ム 4分の4、4分の3、メロディ聞き分け、視唱、コードⅡⅤⅠの聞き分け
4回目	リス'ム 4分の4、4分の3、1 6分、符点8分の導入、8分の6メロディ聞きとり、2声ハーモニー復習、コードⅥを含む聞き分け
5回目	リス'ム 4分の4、復習、4分の3、1 6分8分の6メロディ聞き分け、視唱、KEY=Gの聞き取り、コードⅡⅤⅠ聞き分け
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	タイ付きリス'ム導入、2拍程度の短いフレーズで8分の6拍子、KEY=Fメロディ、2声メロディ復習、2声ハーモニー復習
9回目	リス'ム 4分の4、4分の3、符点4分8分の導入、1 6分8分の6復習、視唱、KEY=F復習、オクターブとユニゾンのハーモニー練習
10回目	スコアリーディング①
11回目	スコアリーディング②
12回目	総合復習
13回目	予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	2年間の集大成です。プロへの道としてしっかり学びましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	楽器ファンダメンタル I Musical Instrument Fundamentals I	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のカンタートコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	6弦ルートのメジャーペンタトニックスケール
3回目	6弦ルートのマイナーペンタトニックスケール
4回目	5弦ルートのメジャーペンタトニックスケール
5回目	5弦ルートのマイナーペンタトニックスケール
6回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
7回目	5,6弦ルートのペンタトニックスケールの復習、両サイドへの派生①
8回目	5,6弦ルートのペンタトニックスケールの復習、両サイドへの派生②
9回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート①
10回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート②
11回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート
12回目	ペンタトニック、ブルーススケールを使用したリックの実演
13回目	前期の振り返り。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	楽器ファンダメンタル II Musical Instrument Fundamentals II	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のカンタートコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	メジャースケール(5,6弦 人差し指、中指スタート)①
3回目	メジャースケール(5,6弦 人差し指、中指スタート)②
4回目	メジャースケール(5,6弦 小指スタート)①
5回目	メジャースケール(5,6弦 小指スタート)②
6回目	メジャースケール(3 Note Per String、複合パターン)①
7回目	メジャースケール(3 Note Per String、複合パターン)②
8回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
9回目	ナチュラルマイナースケール 1 (5,6弦 人差し指、中指スタート)
10回目	ナチュラルマイナースケール 2 (5,6弦 小指スタート)
11回目	ナチュラルマイナースケール 3 (3 Note Per String、複合パターン)
12回目	後期の振り返り。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	楽器ファンダメンタルⅢ Musical Instrument FundamentalsⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のカンタートコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	メジャートライアド
3回目	マイナートライアド
4回目	オーギュメント、ディミニッシュトライアド
5回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
6回目	4音のコードアルペジオ導入
7回目	課題曲での実践。
8回目	発表とフィードバック。
9回目	M7アルペジオ
10回目	7アルペジオ
11回目	課題曲での実践。
12回目	発表とフィードバック。
13回目	前期の振り返り。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	楽器ファンダメンタル IV Musical Instrument Fundamentals IV	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国ギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	m7アルペジオ
3回目	実践とフィードバック。
4回目	m7b5アルペジオ
5回目	実践とフィードバック。
6回目	dim7アルペジオ
7回目	実践とフィードバック。
8回目	代理のアルペジオ
9回目	実践とフィードバック。
10回目	3,4和音のコードトーンアルペジオを使用したフレージング。
11回目	実践とフィードバック。
12回目	後期の振り返り。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	楽器ファンダメンタル I Musical Instrument Fundamentals I	選択 必修	選択必修	年次	1		
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーミングアーツ科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 音楽の3要素であるメロディ・リズム・ハーモニーに対する感性、知識、技能を深めるため右線上の音符やリズム譜に親しみ、ベースを専門分野とするために楽器の各部の知識、音が出る仕組み、メンテナンスの基礎を学習する。ベースラインを構築するに必要なリズムトレーニング(8ビート系)を学習しリズム譜読み、書き取りを学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため読み取った教材のリズムをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。ベースラインを構築するために必要なコード(3和音、属7)のコードトーンを学習する。ベースラインを構築するために必要なメジャースケール、ナチュラルマイナースケールを学習する。ベースラインを構築しアンサンブル中で演奏する為に必要な音楽性を身につけるために楽曲を用いてAメロ・Bメロ・サビ等曲の構成を書きとる方法を学習する。ベースラインに彩りを加えるために必要な経過音の知識・センスを学習する。 【講師プロフィール】 2010 年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表 2013 年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013 年横浜ジャズフロムナードに出演。2015 年大阪高槻ジャズストリート、韓国 の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016 年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017 年にNHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くの CD のレコーディングにも参加。ほっともっと、黒白波等の CFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 自分の楽器をきちんとした状態で維持できるようになる。 カウント、小節数を数えながら楽曲を聴けるようになる。Aメロ・Bメロ・サビ等の楽曲の構成について理解できるようになる。4小節単位・8小節単位の感覚が身につく。コード譜を見てルート音を弾きながら要所に経過音を挿入できるようになる。主に8ビートについて楽曲毎のベースラインの違い、ドラムとのコンビネーションを聞き取れるようになる。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため教材にそったベースラインをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	エレクトリックベース各部の名称、音が出る仕組みを説明できる。楽器の簡単な健康チェックができる。12個の音の場所が説明できる。
2回目	Cメジャースケールが複数の場所で弾ける。コード譜の8分音符のルート弾きができる① 8ビートのリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
3回目	Cナチュラルマイナースケールが複数の場所で弾ける。コード譜の8分音符のルート弾きができる② 8ビートのリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
4回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習① コード譜の8分音符のルート+5度弾きができる① 8ビートのリズムが読める③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
5回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習② コード譜の8分音符のルート+5度弾きができる② 8ビートのリズムが読める④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
6回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習③ コード譜の8分音符の1+5+7度弾きができる④ 8ビートのリズムが読める⑤読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
7回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習④ コード譜の8分音符の1+5+7度弾きができる② 8ビートのリズムが読める⑥読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
8回目	Aナチュラルマイナースケールを用いたスケール練習① コード譜の8分音符の1+3+5度弾きができる① 8ビートのリズムが読める⑦読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
9回目	Aナチュラルマイナースケールを用いたスケール練習② コード譜の8分音符の1+3+5度弾きができる② 8ビートのリズムが読める⑧読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
10回目	Aマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習① コード譜の1+3+5+7弾きができる。8ビートのリズム譜が書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
11回目	Aマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習② コード譜の1+3+5+7弾きができる。8ビートのリズム譜が書き取れる②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
12回目	Aマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習③ コード譜のルート弾きをしなが経過音を挿入できる。8ビートのリズム譜が書き取れる③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。到達度確認
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢(60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度(20%) 自己実現力と演奏力(歌唱力)の向上度(20%)"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	楽器ファンダメンタルⅡ	選択 必修	選択必修	年次	1		
	Musical Instrument FundamentalsⅡ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーミングアーツ科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
音楽の3要素であるメロディズム・ハーモニーに対する感性、知識、技能を深めるため五線上の音符やリズム譜に親しむ。ベースラインを構築するために必要なリズムトレーニング(16ビット系、3連系)を学習。リズム譜読み、書き取りを学習する。ベースラインを構築するために必要なコード(4和音、属7)のコードトーンを学習する。ベースライン、フィルイン等を構築するために必要なアイディア・ドリオン・フジアン・フジアンメジャー・リディアン・ミクソリディアン・エオリアン・ロクリアの各スケールを学習する。ベースラインを構築しアンサンブル中で演奏するために必要な自奏性を身につけるために楽曲を用いてメロ・Bメロ・サビ等曲の構成及びルート音を書きとる方法を学習する。ベースラインに彩りを与えるために必要な経過音の知識・用いる場合の条件等を学習する。重要なコード進行の1つであるツー・ファイブ・ワンについて学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため学習した内容をクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。 【講師プロフィール】2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズフロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM Session 2016に出演。2017年にNHK-FM Session 2017に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズフロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM Session 2016に出演。2017年にNHK-FM Session 2017に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】							
カウント、小節数を数えながら楽曲を聴けるようになる。メロ・Bメロ・サビ等の楽曲の構成について理解できるようになる。ルート音が聞き取れるようになる。4小節単位・8小節単位の感覚が身につく、リピート、ダル・セーニョ、ダ・カーポ等の譜面の進行も読める。コード譜を見てルート音、3度、5度、7度の音を組み合わせ弾きながら要所に経過音を挿入できるようになる。8ビートに加えて16ビット、3連系について楽曲毎のベースラインの違い、ドラムとのコンビネーションを聞き取れるようになる。メジャー及びマイナーキーのツー・ファイブ・ワンのコード進行のスケール及びアルペジオが弾けるようになる。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースラインを作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	ドリアンスケールの練習① ルート音聞き取り練習① 16ビートのリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
2回目	ドリアンスケールの練習② ルート音聞き取り練習② 16ビートのリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
3回目	フリジアンスケールの練習 ルート音、構成の聞き取り練習① 16ビートのリズムが読める③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
4回目	フリジアンメジャースケールの練習 ルート音、構成の聞き取り練習② 16ビートのリズムが読める④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
5回目	リディアンスケールの練習 ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習① 3連系のリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
6回目	ミクソリディアンスケールの練習① ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習② 3連系のリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
7回目	ミクソリディアンスケールの練習② ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習③ 16ビートのリズムが書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
8回目	エオリアンスケールの練習 ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習④ 16ビートのリズムが書き取れる②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
9回目	ロクリアンスケールの練習 メジャーキーのツー・ファイブ・ワンのスケールの練習 16ビートのリズムが書き取れる③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
10回目	各種スケール総合練習① メジャーキーのツー・ファイブ・ワンのアルペジオ練習 16ビートのリズムが書き取れる④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
11回目	各種スケール総合練習② マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのスケール練習 3連系のリズムが書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
12回目	ダイアトニックスケール及びアルペジオの総合練習 メジャーキー・マイナーキーのツー・ファイブ・ワンの総合練習 到達度確認
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢 (60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (20%) 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (20%) "□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	楽器ファンダメンタルⅢ	選択必修	選択必修	年次	2		
	Musical Instrument FundamentalsⅢ	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーミングアーツ科					曜日・時限	月曜4限
【授業の学習内容】							
1 年次同名授業で習得したダイアトニックスケール及びメジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンにおけるスケール及びアルペジオを用いて様々な曲に対応したベースラインを構築・アレンジする方法を実際の曲などから随時的なベース譜の作成練習を通して学習する。コード進行の基礎となるダイアトニックコードおよび付帯するセカンダリドミナント・リレイテッドⅡ m7を随記して簡易的なベース譜の作成効率を上げる。ディミニッシュコードのコード・トーンとスケールと使用法を学習する。オリジナル曲に対してベースラインを構築する方法を学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため構築したベースラインをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							
【講師プロフィール】 2010 年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013 年横浜ジャズフロムナードに出演。2015 年大阪高槻ジャズストリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016 年にNHK-FM Session 2016 に出演。2017 年にNHK-FM Session 2017 に出演。また多くの CD のレコーディングにも参加。ほっとんど、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010 年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013 年横浜ジャズフロムナードに出演。2015 年大阪高槻ジャズストリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016 年にNHK-FM Session 2016 に出演。2017 年にNHK-FM Session 2017 に出演。2023年韓国新山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くの CD のレコーディングにも参加。ほっとんど、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】							
メジャーキーのダイアトニックコード及び付帯するセカンダリドミナント・リレイテッドⅡ m7をベースの指板を用いて表にまとめて書けるようになる。ダイアトニックコードのアルペジオ及びメジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのアルペジオが弾ける。曲のコード進行においてルート音、3度、5度、7度等を使用してベースラインを構築できる。構築したベースラインを演奏しながら効果的に経過音を挿入できる。曲のキーに対応したブルーススケールを用いてフィルイン及びベースソロがとれる。曲のコード進行に沿ったスケールを弾ける。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースライン・フィルイン等を作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	メジャーキーのダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表が書ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
2回目	アイオニアン、ドリアン、フリジアン、フリジアンメジャー、リディアン、ミクソリディアン、エオリアン、ロクリアンの各スケールが弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
3回目	メジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのスケール及びアルペジオが弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
4回目	既存の曲の譜面を見てルート音が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
5回目	既存の曲の譜面を見てルート音 + 5度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
6回目	既存の曲の譜面を見てルート音 + 3度 + 5度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
7回目	既存の曲の譜面を見てルート音 + 3度 + 5度 + 7度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
8回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
9回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける②与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
10回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける③与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
11回目	既存の曲の譜面を見てマイナーペンタトニックスケールとブルーノートをを用いてソロが取れる①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
12回目	既存の曲の譜面を見てマイナーペンタトニックスケールとブルーノートをを用いてソロが取れる② 与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。到達度確認
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	楽器ファンダメンタル IV	選択必修	選択必修	年次	2		
	Musical Instrument FundamentalsIV	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜4限
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
【授業の学習内容】							
既存の曲、オリジナル曲を聴いてキーを特定する方法を学習する。そのキーでのコード進行をまとめた表を書く方法を学習する。またベース、ドラムの基本的なパターンを聞き取る練習をする。ルート音を聞き取る練習をする。聞き取ったルート音をコード進行をまとめた表に照らしてコードネームを類推し、確認する練習をする。それらを基にベースラインを構築する方法を学習する。ディミニッシュやオルタードスケールについて学習する。リハーモナイズの基本を学習する。従来のDTM等の制作時の要求に応えるため学習した内容ををクリックに合わせて録音する。 【講師プロフィール】 2010 年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013 年横浜ジャズフロムナードに出演。2015 年大阪高槻ジャズストリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016 年にNHK-FM Session 2016 に出演。2017 年にNHK-FM Session 2017 に出演。また多くの CD のレコーディングにも参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010 年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013 年横浜ジャズフロムナードに出演。2015 年大阪高槻ジャズストリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016 年にNHK-FM Session 2016 に出演。2017 年にNHK-FM Session 2017 に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くの CD のレコーディングにも参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】							
ベース音からその曲のキーを確定できる。そのキーでのコード進行をまとめた表を書ける。曲の構成要素を聞き取ることができる。構成要素ごとのベースとドラムのパターンを聞き取れる。ルート音とコード進行をまとめた表からコードを確定できる。コード進行からベースラインを構築する事ができる。簡単なリハーモナイズができる。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースライン・フィルイン等を作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	曲のキーを使ってあるベースの音から類推し、確認して確定できる。そのキーにおけるダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表が書ける。曲のキーを使ってあるベースの音から類推し、確認して確定できる。そのキーにおけるダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表が書ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
2回目	曲を聴きイントロ、A×ロ・B×ロ・サビ等の曲の構成要素を書き取れる。ベースとドラムを聴き基本的なパターンを聞き取れる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
3回目	曲のルート音を聞き取ることができる。そのルート音から曲のキーにおけるダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を用いてコードを類推し確認できる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
4回目	確定したコード進行と聞き取った基本的なパターンから音使いの規則性を探し、曲の構成毎にまとめることができる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
5回目	作成した簡易的なベース譜を見ながらベースを演奏する事ができる。オリジナルのフィルイン等を聞き取り譜面にすることが出来る。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
6回目	ディミニッシュコードのアルペジオとスケールを弾くことができる。バッシングディミニッシュの用法について説明できる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
7回目	オルタードスケールを弾くことができる。オルタードスケールの用法について説明できる。アジアンメジャースケールとの違いを説明できる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
8回目	課題曲(唱歌等)のコード進行をアレンジし、メロディを阻害しないような別のコード進行を考えられる①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
9回目	課題曲(唱歌等)のコード進行をアレンジし、メロディを阻害しないような別のコード進行を考えられる②与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
10回目	オリジナル曲に対してダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を書き与えられたリズムパターンの上でベースラインを構築する①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
11回目	オリジナル曲に対してダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を書き与えられたリズムパターンの上でベースラインを構築する①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。 期末テスト
12回目	オリジナル曲に対してダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を書き与えられたリズムパターンの上でベースライン、フィルインを構成する。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。 到達度確認
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	楽器ファンダメンタル I Musical Instrument Fundamentals I	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツをドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、 ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	グリップ&フォーム、フィンガーコントロール
3回目	フットワーク
4回目	中間チェック。
5回目	アクセレーションコントロール16分音符 3種類
6回目	各自実践、フィードバック。
7回目	アクセレーションコントロール3連符 2種類
8回目	各自実践、フィードバック。
9回目	中間チェック。
10回目	ダブルストロークロール
11回目	5.7.9.11.13ストロークロール
12回目	バズ、バズ5、バズ7
13回目	前期の振り返り
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	楽器ファンダメンタル II Musical Instrument Fundamentals II	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	パフォーマンスアーツ科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツをドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、 ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	シングルパラディドル
3回目	実践練習とフィードバック。
4回目	ダブルパラディドル
5回目	実践練習とフィードバック。
6回目	トリプルパラディドル
7回目	実践練習とフィードバック。
8回目	中間チェック。
9回目	フラム、フラムアクセント16分&3連符
10回目	フラムパラディドル
11回目	フラムタップ、ラタマキュー
12回目	後期の振り返り
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	楽器ファンダメンタルⅢ Musical Instrument FundamentalsⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中での自由度を広げて欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールと連符感を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	ラフ、4.5ストロークラフ
3回目	ドラッグ
4回目	シングルドラッグ
5回目	ダブルドラッグ
6回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
7回目	ドラッグバラディドルNo.1.2
8回目	ラタマキュー
9回目	シングルラタマキュー
10回目	ダブルラタマキュー
11回目	トリプルラタマキュー
12回目	ルーディメンツ小テスト
13回目	チェンジアップ
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	楽器ファンダメンタル IV Musical Instrument FundamentalsIV	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中での自由度を広げて欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、 ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールと連符感を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	2拍3連、カウント、コンビネーション
3回目	課題の提示・実践練習。
4回目	実践発表とフィードバック。
5回目	4拍3連、カウント、コンビネーション
6回目	課題の提示・実践練習。
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	3拍4連、カウント、コンビネーション
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	3拍4連on4/4
11回目	実践発表とフィードバック。
12回目	5拍4連、カウント、コンビネーション・7拍フレーズの紹介
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	12週目に行う実技テスト (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	DTM I	必修 選択	必修 選択	年次	1年後期		
	DTM I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	月1限・2限・火2限
【授業の学習内容】 楽曲制作を行う為に必要なLogic Proの操作方法を学びます。 <実務者経験> 「もち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 ■ 上半期を通して簡単なオリジナル曲を作ることが目標です。最後の授業ではオリジナル曲をみんなの前で発表してもらいます。 ■ 編集ウィンドウを理解出来るようになる ■ コピー & ペーストなどのLogicの基本操作を理解できるようになる ■ オーディオインターフェイスを使用、レコーディングできるようになる ■ MIDIでのレコーディングができるようになる							

授業計画・内容	
1回目	■プロジェクトの立ち上げ、保存 ■ バウンス
2回目	■ MIDIとオーディオについて ■ オーディオインターフェース、MIDIキーボードでのレコーディング
3回目	■ 基本的な操作方法を学びながら、ソフトウェア音源とオーディオを組み合わせた短い曲を作る（1/2）
4回目	■ 基本的な操作方法を学びながら、ソフトウェア音源とオーディオを組み合わせた短い曲を作る（2/2）
5回目	■ データの送受信(AirDrop、ギガファイル便) ■ パラアウト
6回目	■ Logicの詳細なウィンドウなど ■ コントロールバーとディスプレイのカスタマイズ ■ トラックスタック
7回目	■ キーコマンドの変更方法 ■ ソロツール、ミュートツールなど
8回目	■ Logic付属のインストゥルメンツについて ■ 即戦力になる音源の紹介 ■ テンプレートの作り方
9回目	■ エフェクト初級① イコライザー
10回目	■ エフェクト初級② リバーブ、ディレイ
11回目	■ エフェクト初級③ コンプレッサー
12回目	■ シンセサイザーの基本について理解できる（1/2） ■ 基本の波形の種類、音色の違いについて
13回目	■ サンプリング（Sampler & Quick Sampler）や逆再生など、オーディオに関するテクニックを用いてトラック制作
14回目	■ 音色変化が効果的なエフェクトやエフェクトのオートメーションを使用しトラック制作
15回目	■ サイドチェーン（サイドチェーンコンプ、ボコーダー）を使用しトラック制作
準備学習 時間外学習	DAWは音楽を皆さんのやりたい音楽を形にするためのツールです。そのために音楽の3大要素である「メロディ」「リズム」「ハーモニー」を他の授業でしっかりと学んでください。また、DAW＝楽器です。毎日触らないと腕が落ちてしまうので、自宅でも毎日触る時間を作ってください。
評価方法	■ 毎週の課題内容の理解と実践度 ■ 定期的に制作する作品の完成度 ■ 受講態度（主に出欠席・遅刻など）
受講生への メッセージ	スポーツでいうと基礎体力を作るための「筋トレ」や「走り込み」に当たるフェーズです。ここで勉強したことは、これから先自分がやりたい音楽の制作に必ず応えてくれるので、一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X	

科目名 (英)	ダンステクニク I	必修 選択	選択必修	年次	1		
	Dance technic I	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科						火曜3限
【授業の学習内容】							
ファンデーションをメインにしたルーティンや作品制作。同時にフィジカルやミュージカリティが身につく筋トレ、リズム遊び、音楽知識を学ぶ。							
(講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】							
ダンサーとして行きて行ける知識、技術、モラルなどを習得。ダンスが上手でも行きていけない世界なのを生き抜く術を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	アインレーションを丁寧に。分解、反復の理論
2回目	リズムの解説。右脳と左脳で理解できるように
3回目	ベーシックステップのいくつかをレクチャー
4回目	ベーシックステップのいくつかをレクチャー
5回目	体重移動の基礎。バランスの取り方
6回目	ヒップホップで使われるステップと9 0 年代の曲
7回目	ウェーブの分解と練習方法
8回目	ストップ、ヒット、エアーのニュアンスと使いどころ
9回目	フリースタイル発表
10回目	ハイテンポの曲にたいするステップの運び方
11回目	ターンを数種類じっくり
12回目	自主制作コンテスト
13回目	コンテスト発表
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	好きという気持ちを忘れないために反復の楽しさを覚えましょう。それをわかりやすく教えるので安心してください！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンステクニックⅡ Dance technicⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜3限
【授業の学習内容】 オールドスクールを中心とした半年間。またダンスの関わり方の可能性を伝えます。 (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 ダンサーとして行きて行ける知識、技術、モラルなどを習得。ダンスが上手でも行きていけない世界なのを生き抜く術を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ブーガルーの基礎
2回目	ヒットとブーガルーをリズムに合わせて踊れるように
3回目	ロックダンスのファンデーション 1
4回目	ロックダンスのファンデーション 2
5回目	ロックダンスのファンデーション 3
6回目	7 0 年代の曲とロックダンスの関係、歴史
7回目	waackの基礎
8回目	waackのバリエーション
9回目	soulダンスのイロハ
10回目	soulダンスと現代音楽との混ぜ方
11回目	邦楽をカッコよく振付する方法
12回目	まとめテスト
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	知らない事は当たり前なので、知ろうとしてください。分からないものを分からないままにしない。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンステクニックⅢ Dance technicⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜4限
【授業の学習内容】 ウォーミングUP、ストレッチ、アイソレーション、クロスフロア（テクニック）を準備運動として実施し、それを使ってJAZZ、JAZZ HOPHOPコンビネーションを2～3週を目途に実施する。 （講師）アメリカで単身レッスンを受け、ラスベガスで数々の日本人初となるイベント出演を果たす。最新のLAスタイルジャズを主体とした自身のジャズファンクを確立。現在、「福岡から世界へ」をベースに日本はもとよりアメリカ ラスベガスにもレギュラーイベントを持つダンスパフォーマンスユニット「ソウル・スプラッシュ・クルー」として活躍中。							
【到達目標】 いろんな種類のダンスを実習していき、それをこなせる陽にしていく。1年間でダンスの基礎を学ぶ。							

授業計画・内容	
1回目	ダンサーとは！の講義を前半に行い、後半4～6×8の振付を覚え、踊る。
2回目	JAZZHIPHOPを踊る。上記のウォーミングUPの後に6～8×8の振付を踊る。
3回目	前半ストレッチやアイソレーションの仕方を覚え、後半8～12×8の振付を踊る。
4回目	クロスフロアで使ったテクニックを振付の中に入れ練習をし、習得する。
5回目	クロスフロアで使ったテクニックを振付の中に入れ練習をし、習得する。
6回目	グループ分けをし、課題を与え、自分たちで振付をし、それを発表し、意見交換を行う。
7回目	フォーメーションダンスを踊る。前後左右の動きを取り入れたダンスを踊り、協調性を養う。
8回目	フォーメーションダンスを踊る。前後左右の動きを取り入れたダンスを踊り、協調性を養う。
9回目	JAZZダンスを踊る。身体の使い方や動きの流れ方の練習し、4×8のJAZZを踊る。
10回目	JAZZダンスを踊る。身体の使い方や動きの流れ方の練習し、4×8のJAZZを踊る。
11回目	グループ分けをし、課題を与え自分たちで振付をし、それを発表し、意見交換を行う。
12回目	前期の評価。4～6×8の振付を覚え、3～4人に分け、踊り、評価する。
13回目	前期まとめ
14回目	まとめ
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	なし
評価方法	出席率50%、技術向上率20%、授業の取り組み態度30%
受講生への メッセージ	基本的にはJAZZスタイルで進めていきます。JAZZが得意ではない人も多くいますが、それぞれの持っている個性を出し、いろんな自分の可能性を見つけ出して視野を広げてもらえればと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	ダンステクニックⅣ Dance technicⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜4限
【授業の学習内容】 ウォーミングUP、ストレッチ、体幹トレーニング（タンジェ、バランスなど）、クロスフロア（テクニック）を準備運動として実施し、それを使ってJAZZ、JAZZ HOPHOPコンビネーションを2～3週を目途に実施する。 （講師）アメリカで単身レッスンを受け、ラスベガスで数々の日本人初となるイベント出演を果たす。最新のLAスタイルジャズを主体とした自身のジャズファンクを確立。現在、「福岡から世界へ」をベースに日本はもとよりアメリカ ラスベガスにもレギュラーイベントを持つダンスパフォーマンスユニット「ソウル・スプラッシュ・クルー」として活躍中。							
【到達目標】 基礎体力を付け、ダンステクニックを習得させ、あらゆるジャンルのダンスに対応できる能力を身に付け、社会に出たときに率先力となる様にする。							

授業計画・内容	
1回目	JAZZダンスを踊る。JAZZの基礎を取り入れたダンスを覚え、それを実習していく。
2回目	JAZZダンスを踊る。JAZZの基礎を取り入れたダンスを覚え、それを実習していく。
3回目	テクニック、スキルUPの強化。ターンやジャンプを取り入れたダンスコンビを踊る。
4回目	テクニック、スキルUPの強化。ターンやジャンプを取り入れたダンスコンビを踊る。
5回目	リズムの取り方を覚える。HIPHOP系のダンスを踊り、ニュアンス等を学ぶ。
6回目	グループ分けをし、課題を与え、自分たちで振付をし、それを発表する。
7回目	リズムの取り方を覚える。HIPHOP系のダンスを踊り、ニュアンス等を学ぶ。
8回目	フロアテクニックを身に付ける。フロアへの導入の仕方や動かし方、体重移動を学ぶ。
9回目	2つのグループに分ける。1つの曲で2つの違う振付を踊る。又、それを交代する。
10回目	小道具（帽子）を使う。帽子を使った振付を踊り、シアターダンスを学ぶ。
11回目	グループ分けをし、課題を与え、自分たちで振付をし、それを発表する。
12回目	前期の評価。4～6×8の振付を覚え、3～4人に分け、踊り、評価する。
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外 学習	なし
評価方法	出席率50%、技術向上率20%、授業の取り組み態度30%
受講生への メッセージ	1年間の中で、自分は何をしたいのか？を模索し、考え、最終的なビジョンを作り、そこに向かって、自分らしさを見つけて欲しいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンス I	必修 選択	選択必修	年次	1年		
	Dance Performance I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 ダンス＆ヴォーカルではソロ＋ダンサー～全員がマイクを持つなどの様々な演奏形態であったり、ポップス、EDM、ロック、ファンクなど色々なジャンルに対応出来る技術が必要です。1年生では与えられた振りや歌割りを短い時間の中で体現でき、ディレクションを入れる事で「自身の表現の幅を広げる」を授業の中で実施していきます。 【講師プロフィール】 レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永（Kis-My-Ft2） / 藤原さくら（アムューズ） / May'n（ホリプロ）など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】 自分の表現できるテクニックの幅を広げる為の実習を行う。 （具体的な目標） 目標①1曲を通して踊りながら歌える体づくり 目標②振りや歌にディレクションを入れる事により表現の幅を広げることができるようになる							

授業計画・内容	
1回目	【目標①】【セクション1】 1st TAからCTへのブリッジリートメント① 課題曲1振り落とし 1コーラス目＋基礎作り（毎回）（＋yuki）
2回目	【目標①】1st TAからCTへのブリッジリートメント② 課題曲1振り落とし 2コーラス目以降＋パート分け歌唱（＋yuki）
3回目	【目標①】1st TA強化トレーニング 課題曲1振り落とし 構成＋パート別け（＋yuki）
4回目	【目標①】2nd 母音を入れ声帯閉鎖補助でのブリッジリートメント① 課題曲1パフォーマンス（＋yuki）
5回目	【目標①】2nd 母音を入れ声帯閉鎖補助でのブリッジリートメント② 課題曲1パフォーマンス固め
6回目	【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジリートメント① 課題曲1パフォーマンス確認
7回目	【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジリートメント② 課題曲1パフォーマンス最終チェック
8回目	【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジリートメント③ 課題曲2振り落とし 1コーラス目＋メロ確（＋yuki）
9回目	【目標①】【セクション2】 1st 軟口蓋のストレッチングによる共鳴空間拡大① 課題曲2振り落とし 2コーラス目以降＋パート分け歌唱（＋yuki）
10回目	【目標②】1st 軟口蓋のストレッチングによる共鳴空間拡大② 課題曲2振り落とし 構成＋パート別け（＋yuki）
11回目	【目標②】2nd 胸骨甲状筋ストレッチング① 課題曲2パフォーマンス
12回目	【目標②】2nd 胸骨甲状筋ストレッチング② 課題曲1と2パフォーマンス
13回目	前期まとめ
14回目	試験
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	（目標①）1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。（目標②）全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。
評価方法	●出席率（50%） ●定期テスト（30%） ●受講意欲（20%）
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ●iPad、メモ用紙、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1年		
	Dance PerformanceⅡ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 自分で考え、体現していくための授業を実施していきます。オリジナル曲を用いて振りや構成、歌割など自分たちで作り上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしています。 【講師プロフィール】 レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永（Kis-My-Ft2） / 藤原さくら（アムューズ） / May'n（ホリプロ）など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。 【到達目標】 歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。							

授業計画・内容	
1回目	【セクション2】3rd チェスト 課題曲③渡し、アレンジや歌詞による曲の解釈 メロ確認
2回目	3rd チェスト 課題曲③パート分け歌唱、自分達で1コーラス分振り作り
3回目	4th ブリジットリートメント 課題曲③パート分け、構成作り 2コーラス分振り作り
4回目	4th ブリジットリートメント 課題曲③構成作り 2コーラス分振り作り
5回目	【セクション3】1st TAのバンパアップ 課題曲③パフォーマンス固め
6回目	1st TAのバンパアップ 課題曲③パフォーマンス確認
7回目	2st TA→CTのバンパアップ 課題曲④渡し、アレンジや歌詞による曲の解釈 メロ確認
8回目	2st TA→CTのバンパアップ 課題曲④パート分け歌唱、自分達で1コーラス分振り作り （2グループ）
9回目	3rd mixのバンパアップ 課題曲④パート分け、自分達で②2コーラス分振り作り
10回目	3rd mixのバンパアップ 課題曲④構成作り 2コーラス分振り作り
11回目	4th ヘッドのバンパアップ 課題曲④パフォーマンス固め
12回目	4th ヘッドのバンパアップ 課題曲④パフォーマンス確認
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	（目標①）全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。 （目標②）見解を広げるために普段から自分の好きな音楽以外も聴いたり歌ったりする事が重要です。 （目標③）1曲を安定して歌うためには体力が必要です。自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。
評価方法	●出席率（50%） ●定期テスト（30%） ●受講意欲（20%）
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ●iPad、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2年		
	Dance PerformanceⅢ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	木曜2限
【授業の学習内容】							
2年生では与えられた振りや歌割りを表現するのではなく、歌詞や楽器のサウンド、アレンジなどから意図を汲み取り「どんな表現を求められているのかを自分で考え、体現していく」ための授業を実施していきます。オリジナル曲を用いて振りや構成、歌割など自分たちで作りに上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしていきます。 【講師プロフィール】 レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永（Kis-My-Ft2） / 藤原さくら（アムーズ） / May'n（ホリプロ）など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】							
歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。 〈具体的な目的〉 目標①歌詞やアレンジなどからどう表現するべきか曲の意図を汲み取る力をつける などによるパート割りをする事により表現効果を増すテクニックを身につける 成をつける力を身につける事ができるようになる 目標②適正な音域 目標③課題曲に自分で振りを作り、構							

授業計画・内容	
1回目	（目標①②）オリジナル曲渡し、アレンジや歌詞による曲の解釈 パート割りの為の歌唱、1コーラス分振り作り
2回目	（目標②③）1コーラス分振り作り
3回目	（目標②③） 2コーラス分振り作り、構成作り
4回目	（目標①②③） 2コーラス分振り作り、構成作り
5回目	（目標①②③）パフォーマンス確認
6回目	（目標①②③）パフォーマンス最終確認
7回目	（目標①②）課題曲②渡し、自分たちでのパート割、1コーラス分振り作り （男女グループ）
8回目	（目標②③） 1コーラス分振り作り
9回目	（目標②③） 2コーラス分振り作り、構成作り
10回目	（目標①②③） 2コーラス以降振り作り、構成作り
11回目	（目標①②③）パフォーマンス確認
12回目	（目標①②③）パフォーマンス最終確認
13回目	前期まとめ
14回目	試験
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	（目標①）1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。 （目標②）全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。
評価方法	●出席率（50%） ●定期テスト（30%） ●受講意欲（20%）
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
●iPad、メモ用紙、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2年		
	Dance PerformanceⅣ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	木曜2限
【授業の学習内容】 2年生では与えられた振りや歌割りを表現するのではなく、歌詞や楽器のサウンド、アレンジなどから意図を汲み取り「どんな表現を求められているのかを自分で考え、体現していく」ための授業を実施していきます。オリジナル曲を用いて振りや構成、歌割など自分たちで作りに上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしていきます。 【講師プロフィール】 レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永（Kis-My-Ft2） / 藤原さくら（アムーズ） / May'n（ホリプロ）など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】 歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。							

授業計画・内容	
1回目	(目標①②) 課題曲②渡し、自分たちでのパート割、1コーラス分振り作り (ソロ)
2回目	(目標②③) 1コーラス分振り作り
3回目	(目標②③) 2コーラス分振り作り、構成作り
4回目	(目標①②③) 2コーラス以降振り作り、構成作り
5回目	(目標①②③) パフォーマンス確認
6回目	(目標①②③) パフォーマンス最終確認
7回目	(目標①②) 課題曲②渡し、自分たちでのパート割、1コーラス分振り作り (ソロ)
8回目	(目標②③) 1コーラス分振り作り
9回目	(目標②③) 2コーラス分振り作り、構成作り
10回目	(目標①②③) 2コーラス以降振り作り、構成作り
11回目	(目標①②③) パフォーマンス確認
12回目	(目標①②③) パフォーマンス最終確認
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	(目標①) パートを割る事による表現効果の理解が不可欠ですのでヴォーカルが2人以上いるグループを聴く予習が必要です。 (目標②) 曲のジャンルやコンセプトによるキャッチーなキメ表現が必要になるので手振りなどの予習が必要です。 (目標③) 3度、5度などの理解が必要ですのでメロディーに対してどうハモっているのか予習が必要です。
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ●iPad、メモ用紙、ペン	

科目名 (英)	ダンスクリエイション I	必修 選択	選択必修	年次	1		
	Dance Creation I	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】							
案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションによっての動き方を指導（プロデュース、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。 （講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】							
様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	舞台基礎知識
2回目	照明基礎知識
3回目	照明応用知識
4回目	音響知識と編集力
5回目	テーマをランダムに決めた振付
6回目	セクション分けをしたもの作り
7回目	プレゼン、直し
8回目	直しが入った後のプレゼン
9回目	上級テーマで制作
10回目	制作期間とスケジュール管理
11回目	発表
12回目	セッション
13回目	コンテスト
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	もの作りはきついししんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅡ Dance CreationⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜4限
【授業の学習内容】 卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたもの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレビューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
	Dance CreationⅢ	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科			(単位)	(2)	曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】							
案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションによっての動き方を指導（プロデュース、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。 （講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをMixさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】							
様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	1年次振り返り、年間目標設定
2回目	制作テーマ決め
3回目	テーマ議論
4回目	作成開始
5回目	作成、スケジュール管理
6回目	作成、リハーサル場所の確保
7回目	作成
8回目	作成
9回目	内覧会、直し
10回目	直し、衣装
11回目	小道具やではけの確認
12回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
13回目	ブラッシュアップ
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ものの作りはきついししんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅣ Dance CreationⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜4限
【授業の学習内容】 卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたもの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレビューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをMixさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	K-POPゼミⅠ	必修 選択	選択必修	年次	1		
	K-POP SeminarⅠ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科					曜日・時限	金曜5,6限
【授業の学習内容】 海外でも高い評価を得ているK-Popの曲や今のトレンドに合う曲をピックアップし、歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音、ピッチ、リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い、業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。 <講師プロフィール> 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 K-Popを学ぶことでアーティストとして、歌、ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-Popに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創、コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし、更に自分を活きる。							

授業計画・内容	
1回目	ピッチ、リズム、言葉、アクセント、音色、声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを宿題として出す
2回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー
3回目	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー
4回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー
5回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
6回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー
7回目	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー
8回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー
9回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
10回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー
11回目	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー
12回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー
13回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	今年度から皆さんと一緒にART OF K-POPを作って行くことになったボーカル講師のキムゴンヒョンです！ゴンちゃんと呼んでください！FSMで授業をするのは初めてで緊張もしつつ、皆さんに会うことがとても楽しみです！皆さんが楽しく学べるように、一人ひとりが幸せになれるようなART OF K-POPにして行きたいと思います！まだまだ足りないところも沢山ありますが、是非是非みんな楽しく、そして真剣に学んでいきましょう！！よろしく願いいたします！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	K-POPゼミⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
	K-POP SeminarⅡ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンス科					曜日・時限	金曜5,6限
【授業の学習内容】 海外でも高い評価を得ているK-Popの曲や今のトレンドに合う曲をピックアップし、歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音、ピッチ、リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い、業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 K-Popを学ぶことでアーティストとして、歌、ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-Popに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創、コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし、更に自分を活きる。							

授業計画・内容	
1回目	ピッチ、リズム、言葉、アクセント、音色、声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを宿題として出す
2回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー
3回目	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー
4回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー
5回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
6回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー
7回目	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー
8回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー
9回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う(WEARE曲の準備)
10回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー(WEARE曲の準備)
11回目	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー(WEARE曲の準備)
12回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー(WEARE曲の準備)
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	今年度から皆さんと一緒にART OF K-POPを作って行くことになったボーカル講師のキムゴンヒョンです！ゴンちゃんと呼んでください！FSMで授業をするのは初めてで緊張もしつつ、皆さんに会うことがとても楽しみです！皆さんが楽しく学べるように、一人ひとりが幸せになれるようなART OF K-POPにして行きたいと思います！まだまだ足りないところも沢山ありますが、是非是非みんな楽しく、そして真剣に学んでいきましょう！！よろしく願いいたします！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	K-POPゼミⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
	K-POP SeminarⅢ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンス芸術科					曜日・時限	金曜3,4限
【授業の学習内容】 海外でも高い評価を得ているK-Popの曲や今のトレンドに合う曲をピックアップし、歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音、ピッチ、リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い、業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。 <講師プロフィール> 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 K-Popを学ぶことでアーティストとして、歌、ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-Popに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創、コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし、更に自分を活きる。							

授業計画・内容	
1回目	ピッチ、リズム、言葉、アクセント、音色、声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを宿題として出す
2回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー
3回目	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー
4回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー
5回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
6回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー
7回目	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー
8回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー
9回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
10回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー
11回目	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー
12回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー
13回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	今年度から皆さんと一緒にART OF K-POPを作って行くことになったボーカル講師のキムゴンヒョンです！ゴンちゃんと呼んでください！FSMで授業をするのは初めてで緊張もしつつ、皆さんに会うことがとても楽しみです！皆さんが楽しく学べるように、一人ひとりが幸せになれるようなART OF K-POPにして行きたいと思います！まだまだ足りないところも沢山ありますが、是非是非みんな楽しく、そして真剣に学んでいきましょう！！よろしく願いいたします！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	K-POPゼミⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2		
	K-POP SeminarⅣ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンス科					曜日・時限	金曜3,4限
【授業の学習内容】 海外でも高い評価を得ているK-Popの曲や今のトレンドに合う曲をピックアップし、歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音、ピッチ、リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い、業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。 <講師プロフィール> 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 K-Popを学ぶことでアーティストとして、歌、ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-Popに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創、コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし、更に自分を活きる。							

授業計画・内容	
1回目	ピッチ、リズム、言葉、アクセント、音色、声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを宿題として出す
2回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー
3回目	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー
4回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー
5回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
6回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー
7回目	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー
8回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー
9回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う(WEARE曲の準備)
10回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー(WEARE曲の準備)
11回目	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー(WEARE曲の準備)
12回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー(WEARE曲の準備)
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	今年度から皆さんと一緒にART OF K-POPを作って行くことになったボーカル講師のキムゴンヒョンです！ゴンちゃんと呼んでください！FSMで授業をするのは初めてで緊張もしつつ、皆さんに会うことがとても楽しみです！皆さんが楽しく学べるように、一人ひとりが幸せになれるようなART OF K-POPにして行きたいと思います！まだまだ足りないところも沢山ありますが、是非是非みんな楽しく、そして真剣に学んでいきましょう！！よろしく願いいたします！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	テクニック I Drum Technique I	選択 必修	選択 必修	年次	1		
学科・コース	パフォーマンス科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ドラム譜の読み方、基本的なセッティングと操作方法、8ビート、8分音符の記譜を理解する
2回目	8ビート、4小節感覚を身につける、クリックを使った練習方法、カウンティング、8分音符の記譜を理解する
3回目	8ビート、8小節感覚を身につける、オープンリムショットとクローズリムショット、16分音符の記譜を理解する
4回目	アクセント無しのシングルストローク、両手16ビート、オープンリムショット、16分音符の記譜を理解する
5回目	16ビートのバリエーション、16分裏拍のストロークとバスドラムのタイミングを合わせるエクササイズ①
6回目	16ビートのバリエーション、16分裏拍のストロークとバスドラムのタイミングを合わせるエクササイズ②
7回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ
8回目	16分音符のアクセント移動（1アクセント）とドラムセットへの応用①
9回目	16分音符のアクセント移動（1アクセント）とドラムセットへの応用②
10回目	16分音符のアクセント移動（2アクセント）とリズムパターン、ドラムセットへの応用①
11回目	16分音符のアクセント移動（2アクセント）とリズムパターン、ドラムセットへの応用②
12回目	ダブルストロークを用いた32分音符と16分音符のコンビネーション、リズムパターン、ドラムセットへの応用①
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間 外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60%） 出席率（40%）
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニックⅡ Drum TechniqueⅡ	選択 必修	選択 必修	年次	1		
学科・コース	パフォーマンス科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ダブルストロークを用いた32分音符と16分音符のコンビネーション、リズムパターン、ドラムセットへの応用②
2回目	8ビートシャッフルのリズムパターン、ハイハットのエクササイズ、3連符の手順と記譜を理解する
3回目	8ビートシャッフルの8分裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ、3連符の手順と記譜を理解する
4回目	2拍3連符のエクササイズ、手順の振り分けとドラムセットへの応用
5回目	8ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオーブクローズ
6回目	16ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオーブクローズ①
7回目	16ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオーブクローズ②
8回目	ハイハットを4分音符で演奏する、速いテンポの8ビートとバスドラムの奏法
9回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート①
10回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート② ハイハットを16分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート
11回目	ハイハットを4分音符で演奏する、速いテンポの8ビートシャッフルとバスドラムの奏法
12回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビートシャッフル
13回目	ミュージカル演習
14回目	We Are FSM 卒業進級制作リハーサル
15回目	We Are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間 外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生へのメッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニクⅢ Drum TechniqueⅢ	選択 必修	選択 必修	年次	2		
学科・コース	パフォーマンス科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	速いテンポの8ビート、ゴーストノート①
2回目	速いテンポの8ビート、ゴーストノート② 速いテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート①
3回目	速いテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート① ツインベダルの基礎練習 (8ビート応用)
4回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ①
5回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ②
6回目	ツインベダルの基礎練習 (オルタネイト)
7回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニク、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ、バスドラムのシングル3連打、4連打
8回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム1打) ドラムセットへの応用①
9回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム1打) ドラムセットへの応用②
10回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→シングル、ツインベダル) ドラムセットへの応用①
11回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→シングル、ツインベダル) ドラムセットへの応用②
12回目	8分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション (シングル、ツインベダル) ①
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生へのメッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニックⅣ Drum TechniqueⅣ	選択 必修	選択 必修	年次	2		
学科・コース	パフォーマンス科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	32分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション（シングル、ツインペダル）②
2回目	8ビートシャッフルのシンコペーション01、Fill in手順の応用①
3回目	8ビートシャッフルのシンコペーション01、Fill in手順の応用② 8ビートシャッフルのシンコペーション02
4回目	ツインペダル基礎練習（シャッフル、3連符）
5回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用①
6回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用② 速いテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ①
7回目	速いテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ②
8回目	シングル、ツインペダルの2ビート（HH表、裏）
9回目	シングル、ツインペダルの2ビート（HH表、裏）と手2足2のコンビネーション ツインペダルの16ビート（32分3打）①
10回目	ツインペダルの16ビート（32分3打）② ツインペダルの16ビート（32分4打）と手2足4、手4足4のコンビネーション
11回目	8シャッフル、HH/リエーションとゴーストノート（手順の応用） シングル、ツインペダルを使ったコンビネーションFill in
12回目	16シャッフル、HH/リエーションとゴーストノート（手順の応用） シングル、ツインペダルを使ったコンビネーションFill in
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間 外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60%） 出席率（40%）
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	バンドアンサンブル I Band Ensemble I	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日 3 限目
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用方法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート (LIVE/レコーディング)、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲① 授業概要説明。ステージマナーを身につけていこう！ 機材や楽器の基本的な使い方を覚えよう！
2回目	課題曲① カウントの出し方、曲の締め方のやり方を身につけよう！ アンサンブルにおける音量バランスを覚えよう！
3回目	課題曲② 基本的な譜面の読み方を理解して、演奏しよう！
4回目	課題曲② 共通譜面におけるリハーサルマーク、リピート記号や括弧、D・S等の記号の意味を理解し演奏しよう！
5回目	課題曲③ 演奏中にアイコンタクト等、演奏中にコミュニケーションを取ろう！
6回目	課題曲③ 鏡を使い、パフォーマンスを意識した演奏してみよう！
7回目	学園祭に向けて 課題曲より楽曲を仕上げていこう！
8回目	課題曲④ 楽曲のリズムを演奏者全員で共有しFeelの合った演奏をしてみよう①
9回目	課題曲④ 楽曲のリズムを演奏者全員で共有しFeelの合った演奏をしてみよう②
10回目	課題曲⑤ 楽曲における抑揚の付け方、演奏の表現方法を学ぼう①
11回目	課題曲⑤ 楽曲における抑揚の付け方、演奏の表現方法を学ぼう②
12回目	テスト週 本番を想定してリハーサルをしよう！
13回目	テスト週 前期で学んだことを活かし、オリジナルバンドを組んで演奏しよう！
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	■ 授業へ取り組み姿勢 (40%) ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度 (30%) ■ 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (30%)
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにたくさんトライして、共に学ぶ仲間と音楽を楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面 (歌詞)、各自のMac、iPad (録音や動画撮影用)、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅡ Band Ensemble Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日 3 限目
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作1
2回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作2
3回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作3
4回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作4
5回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作5
6回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作6
7回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作7
8回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作8
9回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作9
10回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作10
11回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作11
12回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作12
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	■ 授業へ取り組む姿勢（40%） ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■ 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにたくさんトライして、共に学ぶ仲間と音楽を楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅢ Band Ensemble Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日 4 限目
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用方法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 様々なジャンルの楽曲より、バンドアレンジやデジタル機材を用いたアレンジ、ステージパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲① 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：ストレートなRock①
2回目	課題曲① 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：ストレートなRock②
3回目	課題曲② 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Funk、R & B、POPSなどの16ビート①
4回目	課題曲② 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Funk、R & B、POPSなどの16ビート②
5回目	課題曲③ 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Shuffle、Swing16thなどのハネたグルーヴ感①
6回目	課題曲③ 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Shuffle、Swing16thなどのハネたグルーヴ感②
7回目	学園祭に向けて 課題曲より楽曲を仕上げていこう！
8回目	実演ライブに向けて 選曲、構成、アレンジなどアイデアを出して考えてみよう①
9回目	実演ライブに向けて 選曲、構成、アレンジなどアイデアを出して考えてみよう②
10回目	実演ライブに向けて 鏡を使ってお互いにステージパフォーマンスを確認しよう①
11回目	実演ライブに向けて 鏡を使ってお互いにステージパフォーマンスを確認しよう②
12回目	実演ライブに向けて 本番を想定してリハーサルをしよう！
13回目	実演ライブ 本番 前期で学んだことを活かし最高のパフォーマンスをしよう！
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	■ 授業へ取り組み姿勢（40%） ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■ 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	ひとりひとりの最高のパフォーマンスを磨いていく為に、一緒に表現の幅をどんどん広げていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅣ Band Ensemble Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日 4 限目
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作1
2回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作2
3回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作3
4回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作4
5回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作5
6回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作6
7回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作7
8回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作8
9回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作9
10回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作10
11回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作11
12回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作12
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	■ 授業へ取り組み姿勢（40%） ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■ 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	ひとりひとりの最高のパフォーマンスを磨いていく為に、一緒に表現の幅をどんどん広げていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器	

科目名 (英)	スタイルアナライズ I	必修 選択	選択 必修	年次	1		
	Style Analysis I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアーツ科					曜日・時限	月曜日4限目
【授業の学習内容】 ・楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスベルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積む事ができる。また、田原先生と運動しているので、継続してプロセスをふんでいくことができる。							

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明。男性・女性 カントリーロードを学ぶ
2回目	カントリーロードの復習。歌唱技術・知識を学ぶ
3回目	カントリーロードの仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
4回目	男性・Take on me 女性 I feel the earte move を学ぼう
5回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
7回目	田原先生の間発表会への予習 (歌唱指導・ステージでの心がけ)
8回目	男性・The dock of the bay 女性・I say little prayer を学ぼう
9回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
11回目	授業発表会に向けての指導・アドバイス
12回目	田原先生授業内発表会リハーサル
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	課題曲を通して、授業外でのプロセスの積み方を、学生の間に沢山経験してください。努力した分、必ず結果が出る事を信じて、頑張りましょう
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	1		
	Style Analysis Ⅱ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンスアーツ科					曜日・時限	月曜日4限目
【授業の学習内容】 ・楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスベルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積む事ができる。また、田原先生と運動している中で、継続してプロセスをふんでいくことができる。							

授業計画・内容	
1回目	後期授業プロセスの説明。男性 Honesty 女性 Time after time を学ぼう
2回目	1週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
3回目	1週目課題曲の仕上げ。対面での歌唱・アドバイス
4回目	男性 Every breath you take 女性 We are never ever getting betterを学ぼう
5回目	2週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに、対面での歌唱・アドバイス
7回目	中間発表会へのリハーサル
8回目	男性・Perfect 女性 Some one like youを学ぼう
9回目	3週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに、対面での歌唱・アドバイス
11回目	田原先生の授業内発表会リハーサル
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	1年後期を質の高さを意識したプロセスをふむことによって、2年次に向けて、モチベーションを高くもって迎える事ができます。音楽は積み重ねることで、表現が広がっていきます。後期も頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
	Style Analyze Ⅲ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンス学科					曜日・時限	火曜日4限目
【授業の学習内容】 文字表や短い会話文でのハングルの基礎解説と実践、課題曲を用いての言葉の基礎と音楽的表現の解説と実践、歴史や文化の解説とエンターテインメントについての考察と歌唱への応用実践 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ハングルの発音の基礎を理解して歌えるようになろう♪ オギャンの基礎を理解して歌えるようになろう♪ 音楽的表現を理解し歌えるようになろう♪ 時代背景や文化を知りそれらを理解して歌えるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	ことば、歌唱の発音、楽曲や歌唱分析、時代背景や文化を学ぶことで広がる可能性を見つけよう、デュオの課題曲①
2回目	発音①(母音、ワ行、ヤ行)
3回目	発音②(ロ、ㇿ、ㇿ、ㇿ、平音、パッチム①)
4回目	発音③(ㇿ、ㇿ、ㇿ、濃音、激音、パッチム②)、デュオの課題曲②
5回目	オギャン①(低中の基本)、発音を意識して歌えるようになろう
6回目	オギャン②(高中の基本)、リズムとグルーブと発音を意識して歌えるようになろう
7回目	小テスト、デュオの課題曲③
8回目	発音①バリエーション、ダイナミクスを意識して歌えるようになろう
9回目	発音②バリエーション、音色を意識して歌えるようになろう
10回目	発音③バリエーション、デュオの課題曲④
11回目	オギャン①バリエーション、韓国文化と歴史から学ぼう
12回目	オギャン②バリエーション、K-POPの歴史から学ぼう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	発音練習 楽曲の熟聴 歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	古き良きから最新の楽曲や王道曲の分析や歌唱と、時代背景や文化を知り学ぶことで、長く歌い続けられる自分自身の確かなスタイルを一緒に見つけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 課題曲音源、歌詞 ハングル表、オギャン解説表	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
	Style Analysis Ⅳ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンス学科					曜日・時限	火曜日4限目
【授業の学習内容】 課題曲や短いフレーズを用いて、歌唱のためのことばのアプローチ実践、ジャンルや年代ごとの歌唱解説と実践 コーラスワークの解説と実践、自身の歌唱スタイルを構築するための考察と実践 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから 平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ハングルの発音全般とオギャンを歌唱の中で活かせるようになろう♪ ジャンルや年代に対応した歌唱ができるようになろう♪ 少人数でのボーカルアンサンブルができるようになろう♪ 自分自身のスタイルを見つけ進化成長し続けられるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	発音①ラップMix、デュオ課題曲⑤
2回目	発音②ラップMix、ジャンル年代歌唱比較①
3回目	発音③ラップMix、ジャンル年代歌唱比較②
4回目	オギャン①ラップMix、デュオ課題曲⑥
5回目	オギャン②ラップMix、課題曲⑥でアンサンブルチャレンジ①
6回目	小テスト、課題曲⑥でアンサンブルチャレンジ②
7回目	課題曲⑦、課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ①
8回目	課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ②
9回目	課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ③
10回目	自分自身のアーティストスタイルについて考えてみよう
11回目	成果成長のために、学びを振り返ろう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	発音練習 楽曲の熟聴 歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	古き良きから最新の楽曲や王道曲の分析や歌唱と、時代背景や文化を知り学ぶことで、長く歌い続けられる自分自身の確かなスタイルと一緒に見つめていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 課題曲音源、歌詞 ハングル表、オギャン解説表	

科目名 (英)	ショーケースプロジェクト Showcase Project	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	水曜日4限目
【授業の学習内容】 Showcaseに向けて選曲から楽曲を完成させるまでの一連のプロセスのレクチャーとアドバイス (選曲➡和訳➡楽曲分析➡ポエム (和訳読み) ➡英語読み➡パフォーマンス➡振り返り) 〈講師プロフィール〉 年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。							
【到達目標】 レポートリーとして英語の曲でパフォーマンスできるようになろう♪🎤ヴォーカリストとしてのマインド、ノウハウ、スキルを身に付けよう♪							

授業計画・内容	
1回目	プロセスが大事♪ Showcase説明、課題曲
2回目	成長するための選択をしよう♪ 選曲について、アーティスト&楽曲紹介、課題曲
3回目	コレがステージングの基本♪ 目線、マイキング 課題曲
4回目	アナライズで歌をもっと身近に♪ 歌とキャラクター分析、可能な人は歌 自由曲①
5回目	歌唱力向上の最大の秘訣とは？ 聴く力について、歌唱指導 自由曲①
6回目	さあ！歌ってみよう♪ パフォーマンス➡振り返り 自由曲①
7回目	より自分のものにするために♪ 訳、ポエム、英語読み、可能な人は歌 自由曲②
8回目	起承転結のあるパフォーマンスと存在感にも繋がる♪ 立ち位置分析、歌唱指導 自由曲②
9回目	学びを活かして歌ってみよう♪ パフォーマンス➡振り返り 自由曲②
10回目	更に深さを出せるようになろう♪ 歌、キャラクター分析、訳、ポエム、英語読み、可能な人は歌 自由曲③
11回目	歩みを阻むものとそれに打ち勝つ力♪ 恐れ、緊張について、歌唱指導 自由曲③
12回目	学びと気づきを武器に歌ってみよう♪ パフォーマンス➡振り返り 自由曲③
13回目	学期末特別授業
14回目	学期末特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	課題曲、自由曲の歌詞の意味調べ、発音の練習、パフォーマンスの練習
評価方法	実技テスト（各自課題曲の実演発表にて総合評価）
受講生への メッセージ	毎授業が皆さんのステージです♪🎤沢山のチャレンジが皆さんの可能性を最大限に引き出してくれます♪🎤憧れに向かって着実に前進していきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、ボイスレコーダー、自由曲歌詞	

科目名 (英)	ショーケースプロジェクト Showcase Project	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 水曜日4限目
【授業の学習内容】 Showcaseに向けて選曲から楽曲を完成させるまでの一連のプロセスのレクチャーとアドバイス(選曲⇒和訳⇒楽曲分析⇒ボエム(和訳読み)⇒英語読み⇒パフォーマンス⇒振り返り)①選曲：無理のない曲でコントロールできる曲を勧める、選んできてもらう②和訳、楽曲分析、ボエム：楽曲の意味、言葉を深く曲を自分の中に落とし込む③英語読み：発音④パフォーマンス：歌唱、目線、表現、ポジショニング⑤振り返り：録音、録画による自己評価 (講師プロフィール) 年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。							
【到達目標】 レポーターとして英語の曲でパフォーマンスできるようになろう♪ ヴォーカリストとしてのマインド、ノウハウ、スキルを身に付けよう♪							

授業計画・内容	
1回目	前期と夏休みの集大成♪ 発表会
2回目	客観的な選曲ができるようになろう♪ 受容型、克服型、強化型の選曲について 自由曲①
3回目	アンサンブルのためにどんな音楽が演奏形態か探してみよう♪ ヴォーカル以外の楽曲分析 自由曲①
4回目	楽曲や歌唱に客観性をもって歌ってみよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲①
5回目	意味を理解して歌おう♪ 楽曲分析、和訳 自由曲②
6回目	更に深く意味を理解して歌おう♪ ボエム 自由曲②
7回目	世界観と感情表現で歌ってみよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲②
8回目	目線、表現、ポジショニングでステージングを強化しよう♪ 自由曲③
9回目	表情、メイク、衣装でステージングを更に強化しよう♪ 自由曲③
10回目	歌とステージングでイキイキとパフォーマンスしよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲③
11回目	テスト/振り返り
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	課題曲、自由曲の歌詞の意味調べ、発音の練習、歌唱の練習、パフォーマンスの練習
評価方法	実技テスト（各自課題曲の実演発表にて総合評価）
受講生への メッセージ	ステージは皆さんの個性が輝く場所です。コピーを徹底し、技術を身に付ける事で、皆さんの個性を輝かせ方を学んでいきましょう。人前に立つ事で緊張する人も、不安要素を一つ一つ克服する事と、楽曲と自分を繋げることで克服できます。気持ちよくステージに立てよう、沢山勉強していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、ボイスレコーダー、自由曲歌詞	

科目名 (英)	ショーケースプロジェクト Showcase Project	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜日 3 限目
【授業の学習内容】 ショーケース（業界向けライブオーディション）に向けて、自身のシンガーとしてのセールスポイントを客観的に分析し選曲、準備を行い、本番を想定したトータルパフォーマンスを仕上げる。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 自由曲選曲により自身の音楽の幅を広げていける、新たなチャレンジが出来る。自分の長所・短所を客観的に見ることによりよりニーズに応えられる選択が出来る様になる。ソロシンガーとしての自立心、責任感を持てるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、特別課題曲レクチャー、発表
2回目	自由曲①1コーラス発表、フィードバック
3回目	自由曲①フルコーラス発表、フィードバック
4回目	自由曲①トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
5回目	自由曲②1コーラス発表、フィードバック
6回目	自由曲②フルコーラス発表、フィードバック
7回目	自由曲②トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
8回目	自由曲③1コーラス発表、フィードバック
9回目	自由曲③フルコーラス発表、フィードバック
10回目	自由曲③トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
11回目	自由曲発表会 リハーサル①
12回目	自由曲発表会 リハーサル②
13回目	総合発表会
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	自分の持つ力を最大限に発揮するためには、徹底的に準備をすることです。自分というアーティストにどのような可能性が隠されているかは好みとは別に様々な良い楽曲と向かい合い、初めて知る事が出来ます。知らなかった音楽、シンガー、楽曲にたくさんトライし、丁寧に準備・練習し隠れた力に気づきそれを育てていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ショーケースプロジェクト Showcase Project	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜日 3 限目
【授業の学習内容】 ショーケース（業界向けライブオーディション）に向けて、自身のシンガーとしてのセールスポイントを客観的に分析し選曲、準備を行い、本番を想定したトータルパフォーマンスを仕上げる。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 自由曲選曲により自身の音楽の幅を広げていける、新たなチャレンジが出来る。自分の長所・短所を客観的に見ることによりよりニーズに応えられる選択が出来る様になる。ソロシンガーとしての自立心、責任感を持てるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	自由曲④1コーラス発表、フィードバック
2回目	自由曲④フルコーラス発表、フィードバック
3回目	自由曲④トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
4回目	自由曲⑤1コーラス発表、フィードバック
5回目	自由曲⑤フルコーラス発表、フィードバック
6回目	自由曲⑤トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
7回目	自由曲⑥1コーラス発表、フィードバック
8回目	自由曲⑥フルコーラス発表、フィードバック
9回目	自由曲⑥トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
10回目	自由曲⑦フルコーラス発表、フィードバック
11回目	自由曲⑦トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
12回目	総合発表会 本番
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	自分の持つ力を最大限に発揮するためには、徹底的に準備をすることです。自分というアーティストにどのような可能性が隠されているかは好みとは別に様々な良い楽曲と向かい合い、初めて知る事が出来ます。知らなかった音楽、シンガー、楽曲にたくさんトライし、丁寧に準備・練習し隠れた力に気づきそれを育てていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	パフォーミングプロジェクト Performing Project	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日 1 限目・2 限目
【授業の学習内容】 往年の名曲から現代音楽、または世界でもトップクラスのエンターテインメント演目が集結するブロードウェイミュージカル楽曲を主に課題とし、世界に認められているより深い感情表現や体の使い方を学ぶ。また、作品制作などの特定の課題に対し、研究・演習からプレゼンテーションまでを行い、実践力を養う。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ヴォーカリストとしてステージ上で機能するために必要な歌唱、表現、演出知識、コミュニケーションを含めた自身の総合プロデュースが身に付く。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①Good morning Baltimore ②I know where I've been レクチャー（発音、音程、リズム、コーラスワーク）
2回目	課題曲①②復習・チェック
3回目	課題曲①②復習・チェック、③Dancing Queen レクチャー（発音、音程、リズム、コーラスワーク）
4回目	課題曲③復習・チェック、リードチェック
5回目	課題曲③復習・チェック、リードチェック、④Little shop of horrors レクチャー（発音、音程、リズム、コーラスワーク）
6回目	課題曲④復習・チェック、リードチェック
7回目	課題曲④復習・チェック、リードチェック、⑤Zero to hero レクチャー（発音、音程、リズム、コーラスワーク）
8回目	発表会曲リードオーディション
9回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング（イベントを遂行するための各所担当決め）
10回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング
11回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング
12回目	発表会通しリハーサル
13回目	前期発表会本番
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	課題曲に関連するミュージカル、映画、動画の鑑賞や歌詞の和訳の準備など
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	世界のトップクラスのエンターテインメントをしっかりと学ぶことでより一つでも多くを吸収出来る授業内容です。出来るか出来ないかで判断する前に、まずは一緒に挑戦してみよう！一つずつ挑戦を繰り返し、その先に待つ自分自身を想像しながら一緒に進んでいきましょう！コーラスの音振りなど、欠席分の授業は自己責任で他の履修生から録音を必ずもらって準備、対応をください。
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器	

科目名 (英)	パフォーミングプロジェクト Performing Project	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日 1 限目・2 限目
【授業の学習内容】 往年の名曲から現代音楽、または世界でもトップクラスのエンターテインメント演目が集結するブロードウェイミュージカル楽曲を主に課題とし、世界に認められているより深い感情表現や体の使い方を学ぶ。また、作品制作などの特定の課題に対し、研究・演習からプレゼンテーションまでを行い、実践力を養う。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ヴォーカリストとしてステージ上で機能するために必要な歌唱、表現、演出知識、コミュニケーションを含めた自身の総合プロデュースが身に付く。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲① ②レクチャー
2回目	課題曲①②復習・チェック
3回目	課題曲①②復習・チェック、③レクチャー
4回目	課題曲③復習・チェック、リードチェック
5回目	課題曲③復習・チェック、リードチェック、④レクチャー
6回目	課題曲④復習・チェック、リードチェック
7回目	発表会曲リードオーディション
8回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング
9回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング
10回目	コーラス総合チェック、演出仕上げ
11回目	通しリハ
12回目	発表会本番
13回目	イベント実習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲に関連するミュージカル、映画、動画の鑑賞や歌詞の和訳の準備など
評価方法	■ 授業へ取り組み姿勢（40%） ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■ 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	世界のトップクラスのエンターテインメントをしっかりと学ぶことでより一つでも多くを吸収出来る授業内容です。出来るか出来ないかで判断する前に、まずは一緒に挑戦してみよう！一つずつ挑戦を繰り返し、その先に待つ自分自身を想像しながら一緒に進んでいきましょう！コーラスの音振りなど、欠席分の授業は自己責任で他の履修生から録音を必ずもらって準備、対応をください。
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器	

科目名 (英)	ミュージカルプロジェクト Musical Project	必修 選択	選択必修	年次	1.2.3		
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	360 (24)	開講区分 曜日・時限	通年 水曜日4.5限
【授業の学習内容】 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。 ※実務経験：関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、日本一ティーンに観られている、と言えるほどの舞台演出家です。 【到達目標】 「生きることの素晴らしさ」をそれぞれの学習分野を通して伝える。 ミュージカル・イベント制作に必要なスキルを学ぶ。 エンターテイナー・パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションにてミュージカルのコンセプトと内容、社会貢献について理解することができる
2回目	メンバー顔合わせと今後のスケジュール確認や製作期間中の注意事項、役割分担を決めレッスンを行う
3回目	台本の読み合わせを行い、オーディションに向けて自分がチャレンジしたい役を決定する
4回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
5回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
6回目	仮キャストの発表～台本の読み合わせ～発声方法・演技指導を行う
7回目	ダンスシーンの振付・歌唱稽古開始し、歌唱・振付を覚えることができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	立ち稽古～広いアクティングエリアを使用し立ち位置の確認と導線、動きの確認をすることができる
11回目	リハーサル～実施に公演するホールを使用し、衣装を着用、小道具を使用してのリハーサルを行う
12回目	ホールリハーサルでの反省点を振り返り、修正と強化練習によってクオリティーを上げることができる
13回目	ホールを使用してのリハーサル～本番に向けての最終確認とサウンドチェック・リハーサルを行う
14回目	進級発表本番1回目を行う
15回目	進級発表本番2回目を行う
準備学習 時間外学習	稽古の振り返り
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■各課題曲の目標の達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	